

令和7年度

事業報告書

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

目 次

1	法人本部	
(1)	－① 法人本部運営	1
(1)	－② 地域における公益的な取組	1 1
(2)	障害者支援センター管理事業	1 2
2	障害者支援センター相談支援事業所	1 5
3	障害者支援センター多機能型事業所	1 6
(1)	生活介護事業①	1 9
	生活介護事業②	2 3
(2)	自立訓練（生活訓練）事業	2 6
(3)	就労移行支援事業	2 9
(4)	就労継続支援B型事業	3 2
(5)	就労定着支援事業	3 4
4	銀河	
(1)	生活介護事業	3 6
(2)	ガイドヘルプサービス事業所	4 0
5	障害者支援センター	
(1)	障害者地域就労援助センター事業	4 2
(2)	障害者就業・生活支援センター事業	4 7
(3)	地域障害者施設支援事業	5 1
(4)	基幹相談支援センター等事業	5 7
6	障害者一時ケア事業	6 3
7	発達障害支援センター就労支援事業	6 6
8	障害者相談支援キーステーション事業	6 9
9	けやき体育館	
(1)	けやき体育館管理・運営事業	7 2
(2)	障害者余暇活動支援事業	7 6
10	令和7年度の取組一覧	8 3
	○福祉研修センター研修一覧表	巻末

1 法人本部

(1) - ①法人本部運営

○事業の概要

法人運営に係る重要事項の議決機関である評議員会、業務執行の決定機関である理事会を開催し、事業計画、予算、決算等を策定するとともに、法人全体に係る事務、財務及び職員の人事、採用、育成、労務管理及び地域交流、広報活動を行う。

○重点目標

- 1 確実に採用に結び付けるため、つながりを重視した採用活動を推進する。
- 2 従来の業務実施方法を見直し、時代に即した実施方法を推進する。

○実施結果

1 評議員会、理事会等の開催

(1) 評議員会、理事会の開催

ア 評議員会の開催

開催日	出席・同意数／定数	主 な 議 題
6月17日	評議員 4／7	・令和6年度収支決算 ・理事の選任 ・監事の選任
2月15日 (書面決議)	評議員 8／8	・理事の選任

イ 理事会の開催

開催日	出席・同意数／定数	主 な 議 題
4月1日 (書面決議)	理事 6／6 監事 2／2	・評議員候補者の選任 ・評議員選任・解任委員の選任 ・評議員選任・解任委員会の招集
5月27日	理事 6／6 監事 2／2	・令和7年度収支予算の補正 ・令和6年度事業報告 ・令和6年度収支決算 ・令和6年度監事監査報告 ・評議員候補者の推薦 ・理事及び監事候補者の推薦 ・評議員選任・解任委員会の招集 ・定時評議員会の招集 ・資金運用実施計画
6月17日	理事 7／7 監事 2／2	・理事長及び常務理事の選定
12月2日	理事 6／7 監事 2／2	・職員給与、退職手当規程の一部改正 ・常勤役員の報酬の改定
2月1日 (書面決議)	理事 6／6 監事 2／2	・理事候補者の推薦 ・臨時評議員会の招集
3月16日	理事 6／7 監事 1／2	・資金収支予算の補正 ・職員就業規則の一部改正 ・準職員就業規則の一部の改正

		・契約職員及び再雇用職員の就業規則の一部の改正 ・非常勤職員就業規則の一部の改正 ・職員給与、退職手当規程の一部の改正 ・障害者支援センター多機能型事業所(生活介護、自立訓練(生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援B型、就労定着支援)運営規程の一部の改正 ・令和8年度事業計画 ・令和8年度収支予算 ・評議員選任・解任委員会委員の選任 ・職員の人事
--	--	---

ウ 評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席・同意数／定数	主 な 議 題
4月15日	委員 3／3	・評議員の選任
6月6日	委員 3／3	・評議員の選任

エ 監事監査の実施

実施日	5月19日
実施者	監事2名(渋谷久美氏、大崎ケイ子氏)
対象	令和6年度法人運営(事業)及び財務(収支決算)
監査結果	5月27日理事会に報告のとおり

(2) 経営会議の開催：業務執行・内部統制に係る重要事項の審議、決定
経営会議の開催 3回(5月9日、11月21日、3月6日)

(3) 経営調整会議の開催：業務執行上の実務の審議、決定、執行
経営調整会議の開催 月1回 計12回

(4) 運営協議会の開催：利用者、家族、地域の方々の意見を伺い事業に反映

開催日	出席者／現在数	主 な 議 題
9月16日	9／10	・事業団が行っている事業 ・障害のある方の多様な働き方 ・地域との連携

2 財務運営

(1) 法定調書電子申告義務化に完全対応した。

(2) 経理事務マニュアルを更新し、財務担当に対する研修を実施した。

3 人材の確保・育成

(1) 説明会の開催から募集、選考、採用についての一連の活動を計画的に実施し、効果的かつ効果的な人材の確保に努めた。

ア 次のとおり説明会を開催した。

開催日	参加者数	主 な 内 容
7月23日	0	・事業団の概要説明
8月4日	1	・各事業における職員の役割に関する説明

10月1日	1	・先輩職員へのインタビュー動画の視聴 ・質疑応答 ・施設見学
10月9日	2	
10月10日	1	
3月5日	1	
3月11日	1	
3月19日	0	

イ 次のとおり職員の募集及び採用を行った。

区分	募集期間	募集人数	応募人数	採用人数
正規職員・福祉職員(1回目)	3月1日～4月4日	2	7	1
正規職員・福祉職員(2回目)	6月1日～8月22日	3	6	0
正規職員・福祉職員(3回目)	10月1日～10月23日	5	9	2
正規職員・福祉職員(4回目)	12月26日～1月25日	5	56	5
正規職員・看護職員(1回目)	随時	1	0	0
契約職員・生活支援員(1回目)	3月24日～4月14日	5	4	3
契約職員・生活支援員(2回目)	5月1日～5月22日	5	3	1
契約職員・生活支援員(3回目)	7月1日～7月23日	5	4	1
契約職員・生活支援員(4回目)	随時	5	2	2
契約職員・生活支援員(5回目)	随時	5	1	0
契約職員・生活支援員(6回目)	随時	5	1	1
契約職員・生活支援員(7回目)	随時	4	1	1
契約職員・生活支援員(8回目)	随時	3	1	1
契約職員・生活支援員(9回目)	随時	2	1	0
契約職員・看護職員(1回目)	随時	1	0	0

ウ 採用PR活動

事業団の採用情報に関心のある方や実習生などに対し登録を依頼し、採用に関するメール配信を行った。(年4回)

(2) 人材育成・職員研修計画に基づき多様な研修を実施し、職員の資質及び支援力の向上を図った

職員研修の実施

研修 区分		内容	参加 人数
職場 研修 OJT	階層 研修	・新規採用職員研修(法人内) ・新任主任研修(相模原市)	16 1
	法人 本部 テーマ 別研修	・コンプライアンス・ハラスメント研修	79
		・BCP研修(災害)	119
		・感染症対策研修	90
		・感染症対策実技研修	78
		・BCP研修(感染症関連)	75
		・虐待防止セミナー	55
		・事故防止セミナー	69
派遣 研修	本部 専門 研修	・社会福祉法人会計基準の概要と計算書類体系について	1
		・令和7年度社会福祉法人会計実務講座(初級コース)	1
		・令和7年度第1回健康保険委員研修会	1

	職場外	・令和7年度社会福祉法人会計実務講座(中級施設コース)	1
		・カスタマーハラスメント研修	1
		□資格取得研修	
		障害者の就労支援に関する基礎研修	1
		医療的ケア看護師講習会(8月)	1
		食品衛生責任者養成講習	1
		神奈川県サービス管理責任者実践研修	1
		神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修	1
		社会福祉法人会計実務講座(初級コース)	1
		社会福祉法人会計実務講座(中級施設コース)	1
		施設送迎従事者向け 安全運転研修会	1
		神奈川県相談支援従事者初任者研修	1
		神奈川県相談支援従事者現任研修	1
		□外部機関・専門	
		神奈川県障害者自立支援協議会第1回機関相談支援センター連絡会	1
		社会福祉法人会計基準の概要と計算書類体系について	1
		精神障がい者支援の障がい特性と支援技法	1
		きこえにくいわかりやすい話し方～からだや顔の筋肉を使って声を出してみよう～	1
		職場適応援助者養成研修	1
		障害者就業・生活支援センター 就業支援担当者研修	1
		えびな支援学校 公開研修会	1
		第1回健康保険委員研修会	1
		医療的ケア看護師講習会	1
		医療的ケア児の人生の歩み	1
		厚生労働省障害者地域生活支援体制整備事業「全国ブロック会議」	1
		摂食・嚥下指導(基礎・実習)講習会	1
		関東地区知的障害関係施設種別代表者会議 栃木大会	1
		自閉症基礎セミナー2025	1
		神奈川県相談支援従事者初任者研修	1
		高次脳機能障がいセミナー 実務編 社会的行動障害	1
		カスタマーハラスメント研修	1
		障がい児の通学支援を考えるフォーラム	1
		障害者雇用に関する研修会	2
		障害者雇用を考える～知的障害者・発達障害者の雇用の現場から～	1
		□福祉研修センター	
		①福祉の仕事のルーツを知ろう	1
		②支援者の価値観と倫理観	2
		③対人支援の専門性とは～専門性とは何でしょうか～	1
		④障害の理解と障害者を支える思想～障害って何でしょう～	1
		⑤住み慣れた地域で暮らすために～障害福祉制度と地域生活支援～	1
		自閉スペクトラム症や神経発達症(発達障害)のある子どもと共に育つ	2
		サービス等利用計画と個別支援計画の関係	1

	障害福祉制度の基礎	2
	最新の障害者福祉の動向	1
	臨時報酬改定・臨時応急的な措置・成年後見制度の見直し	
	相模原市の障害福祉制度～高齢者福祉の連携から～	2
	子どもたちの暮らしを支えるために私たちに何ができるか	1
	記録はアセスメントで変わる!!	1
	発達障害の特性を知る～共に生きるための第一歩～	1
	エンパワーメントとストレングスを知る	1
	解決志向アプローチとストレングス視点	2
	知的障害の意思決定支援～私が決めるを支える力～	1
	医療観察法における実際の支援～「制度の理解」と「現場の支援」～	1
	ロールプレイで学ぶ精神障害の特性と面接技法	1
	就労選択支援の意見交換会	1
	重症心身障害児者の摂食について	
	①重症心身障害児が楽しく安全に食事ができるための食事介助方法 や口腔ケアについて	1
	②食べることの演習	1
	人工呼吸器装着中のケアとアラーム対応	1
	最新の障害福祉の動向 ～就労選択支援事業～	8
	□コミュニケーション研修	
	①話し方／きき方研修～会話を促進させるための大切なスキル～	1
	②話し合いの進め方～ファシリテーションスキルを高めましょう～	1
	③説得力のある話し方～プレゼンテーションのコツを掴みましょう～	1
	みんなで考えよう ひきこもるということ	4
	キャリアアップを前提とした障がい者雇用	2
	働く力を見つける、育てる、つなげるために	1
	～BWAP2を活用した就労スキルの可視化と就労選択支援～	
	心のメンテナンス研修	1
	強度行動障害者支援者養成研修【基礎研修】	1

(3) 学生クルー（有償ボランティア事業）

学生クルーとして学生5名を登録し、延べ16名が法人事業の運営補助に携わった。

開催日	内容	参加人数
4月15日	手話入門基礎講座運営補助	1
4月22日	手話入門基礎講座運営補助	1
4月24日	要約筆記者養成講座運営補助	1
7月10日	要約筆記者養成講座運営補助	1
7月17日	要約筆記者養成講座運営補助	1
7月22日	手話入門基礎講座運営補助	1
7月25日	福祉研修センター研修運営補助	1
8月5日	銀河レクリエーション(ヨガ)補助	1
8月18日	福祉研修センター研修運営補助	1
8月21日	自立訓練家事講座運営補助	1
8月25日	福祉研修センター研修運営補助	1
10月25日午前	総務課模擬店運営補助(松が丘園祭)	1

10月25日午後	総務課模擬店運営補助(松が丘園祭)	1
12月14日	まつカフェ忘年会補助	1
1月16日	福祉研修センター研修運営補助	1
1月26日	福祉研修センター研修運営補助	1

(4) 法人内報告会の実施

年度	開催日	参加者	報告内容
R7	2月24日	60名	①障害者一時ケア事業実践報告 利用者 A さんに関する実践報告 ②宮崎市障がい者基幹相談支援・虐待防止センター視察報告 ③令和7年度 中核的人材養成研修 実践報告

(5) 資格取得(登録)支援

所定の資格取得者に対して資格取得一時金を支給した。

年度	取得資格と取得者数
R7	社会福祉士1名、精神保健福祉士2名
R6	社会福祉士1名

4 危機管理会議と苦情解決

(1) 災害対策委員会において、災害発生に備えた防災訓練、事業継続計画の検証やシミュレーションを行った。

- ア 松が丘園銀河合同防災訓練(2回)
- イ 福祉避難所開設訓練(相模原市合同開催)(1回)
- ウ BCP研修(1回)
- エ BCP訓練(1回)
- オ BCP、福祉避難所等 災害備蓄品等の確認

(2) 感染症対策委員会において、感染症に関する最新の情報を把握し、研修等により感染症防止対策の適切な知識の普及啓発及び対策を行った。

- ア 感染症対策研修(障害者施設の感染対策事例)(1回)
- イ 感染症対策実技研修(手指衛生)(1回)
- ウ BCP感染症関連研修(ゾーニング)(1回)

(3) 虐待防止委員会において、研修及び職員セルフチェックリストの実施、身体拘束等の適正化対策の検討及びコンプライアンスの推進を図った。

- ア 虐待防止セミナーの実施(1回)
- イ セルフチェックリストと意見交換(2回)
- ウ 身体拘束に係る理解を促進する動画配信
- エ 身体拘束適正化委員会の開催

(4) 事故防止委員会において、事故の未然防止策や事故発生時の対策について検討を行い、事故防止に努めた。

- ア 交通事故防止・事故防止研修の実施と意識啓発
- イ 事故報告・ヒヤリハットの集計・分析と情報共有
- ウ 法人研修「交通事故防止セミナー」実施

事故報告・ヒヤリハットの件数

単位：件

年度	事故報告	交通事故・違反	事務処理ミス	その他	ヒヤリハット報告
R7	20	8	5	7	9
R6	18	6	2	1	20

- (5) 苦情、ご意見ご要望の受付と第三者委員会への報告など、苦情に対する適切な解決に努めた。

ア 苦情・ご意見ご要望の受付件数

単位：件

年度	苦情	苦情の分類				ご意見・ご要望
		人的サービス	施設の管理運営	施設設備	その他	
R7	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	2

イ ご意見・ご要望の内容

なし

ウ 個人情報保護・開示

開示申出件数:0件

エ 利用者満足度調査（アンケート）の実施 ※令和7年度より評価方法を変更

(ア) 障害者支援センター多機能型事業所（実施期間：11月1日～30日）

年度	配布数	回収数	回収率	総合評価点数
R7	46	46	100.0%	91.0点
年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	45	45	100.0%	96.3%

(イ) 障害者地域就労援助センター事業（実施期間：11月1日～30日）

年度	配布数	回収数	回収率	総合評価点数
R7	82	27	32.9%	79.8点
年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	15	10	66.7%	100.0%

(ウ) 福祉研修センター事業（実施期間：11月1日～30日）

年度	配布数	回収数	回収率	総合評価点数
R7	295	65	22.0%	91.2点
年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	378	106	28.0%	100.0%

(エ) 手話通訳者等養成事業（実施期間：１１月１日～３０日）

年度	配布数	回収数	回収率	総合評価点数
R7	63	58	92.1%	88.0点
年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	実施なし	—	—	—

(オ) 基幹相談支援センター等事業（実施期間：１１月１９日～３０日）

年度	配布数	回収数	回収率	総合評価点数
R7	68	26	38.2%	77.5点
年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	実施なし	—	—	—

(カ) 障害者一時ケア事業（実施期間：１１月１日～１２月２６日）

年度	配布数	回収数	回収率	総合評価点数
R7	88	65	73.9%	92.2点
年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	59	39	66.1%	100.0%

(キ) けやき体育館（実施期間：３月１日～３１日）

年度	配布数	回収数	回収率	総合評価点数
R7	263	231	87.8%	93.9点
年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	199	183	92.0%	99.4%

(ク) 銀河生活介護事業所（実施期間：１１月１日～２８日）

年度	配布数	回収数	回収率	総合評価点数
R7	43	27	62.8%	93.2点
年度	配布数	回収数	回収率	回答に占める 全体的に満足・ある程度満足の割合
R6	44	33	75.0%	100.0%

５ 広報活動及び情報公開

- (１) 利用者や関係者への情報提供の充実を図るとともに、採用活動における法人の魅力発信を目的として、法人及び松が丘園ホームページの内容及び構成の見直しを行った。
- (２) インスタグラムアカウントの開設し、利用者の作品や松が丘園での出来事、職員の日々の活動風景等を発信するとともに、相模原市社会福祉事業団（松が丘園）に関わる「中の

人」の魅力を発信した。

- (3) 広報委員会によるホームページの随時更新及び広報紙「こもれび」の発行等により、利用者、関係者及び地域の方々へ法人活動を周知した。

ア ホームページによる情報提供：年間196回 インスタグラム投稿143件
イ 機関紙「こもれび」の発行：年間2回・計2,000部・地域の方、関係機関等へ配布
ウ 「松が丘通信」の発行：年3回
エ 「けやき体育館通信」の発行：年6回
オ けやき体育館公式X投稿：年間540回

- (4) 松が丘園祭の実施

地域との交流を図るとともに、事業団をPRする行事として、「松が丘園祭」を開催し(10月25日)、地域にお住まいの方や福祉に関心を持つ学生の方など多くの方が来場し、盛り上がりを見せた。

- (5) 近隣大学との連携

ア 知的障害者ガイドヘルパー養成研修の実施
和泉短期大学からの委託事業として、知的障害者ガイドヘルパー養成研修を実施した。

実施期間	人数
・座学(13時間)10/14~10/15 ・実習(6時間)11/12、11/19	7

イ 和泉短期大学生のインターンシップ等の受入れ

インターンシップ 6名(銀河6名)
福祉現場体験 4名(多機能型事業所2名、銀河2名)

ウ 松が丘園での授業受入れ

和泉短期大学の必修科目の授業を松が丘園で行い、事業団職員が講師として携わった。
10月8日(水) 1クラス 8名

エ 松が丘園祭での連携

松が丘園祭と和泉短期大学いずみ祭においてスタンプラリーを共同で実施した。

6 職員の労務管理と福利厚生

- (1) ストレスチェックにより、職員のストレスへの気づきとメンタルヘルスの向上を図った。

ストレスチェックの実施 令和7年11月 対象者69人

- (2) 日常的な職員の悩み事を相談できる機会として、臨床心理士による「なんでも相談」を実施した。

相談件数4件(事業団2件、文化財団2件)

- (3) インフルエンザ予防接種費用の一部補助：19名

7 DXの推進

- (1) 業務効率化を目的として会議を定期的実施し、形骸化している手続きの見直しや効率化できる業務を抽出した。

打合せ開催数 10回

- (2) AIを活用した各種アプリケーション等の情報を収集・把握し、規程集の改編や議事録作成などの文書校閲業務に導入するとともに、その効果や精度について検証を行った。また、会議や面談等で録音した音声の文字起こしにAIツールを導入した結果、文字起こし機能に加え、要約機能についても業務効率化に有効であることが確認できた。

1 法人本部

(1) -② 地域における公益的な取組

○事業の概要

社会福祉法人の責務である「地域における公益的な取組」として、障害のある人が自分自身に合った時間の過ごし方を見つけられる障害者フリースペース事業、地域の方がほっとできるような居場所や情報交換の場として、こどもや障害のある人などの地域の人にむけたフリースペース事業を実施する。事業団の専門性を活かし、公的支援につながりにくい人に対する支援を実施する。

○実施結果

1 まつカフェ

障害のある方に対して、楽しい時間を過ごす居場所を作る事業として、「まつカフェ」を実施した。参加者が様々な体験ができるような内容を検討し、参加者同士が親睦を深められる機会とした。この事業の実施にあたっては、地域課題やニーズを把握し、事業化する取組みを法人として積極的に進めるために、組織横断的にプロジェクトチームを組織し行った。

開催日	参加者数	内 容	会 場
9月23日	7	プラネタリウム鑑賞・博物館見学	市立博物館
10月25日	194	「カフェ&バーまつ」営業 (松が丘園祭内で実施)	松が丘園
11月9日	9	「己書」体験	松が丘園
12月14日	14	忘年会	松が丘園
1月18日	10	科学館見学	ふれあい科学館
2月7日	7	ランチ外出	ダイニングバーギフト

2 みんなのけやきカフェ

けやき体育館で運営する「けやきカフェ」を活用し、地域の方がほっとできるような居場所づくりや交流の場「みんなのけやきカフェ」を実施した。また、同日に開催したイベント「けやき☆ひろば」への案内を行った。

実施日	参加者数			内容
	こども	大人	合計	
7月26日	2	32	34	カレーの提供、参加者同士の交流の場
2月21日	6	44	50	カレーの提供、参加者同士の交流の場

1 法人本部

(2) 障害者支援センター管理事業

○事業の概要

指定管理事業である障害者支援センター松が丘園全体に係る統括を行うとともに、施設の維持管理等を行う。

○重点目標

環境に配慮した施設の維持管理に努める。

○実施結果

1 障害者支援センター松が丘園全体に係る運営の統括

(1) SDGsの観点から、ペーパーレス化を推進した。

(2) 衛生委員会において、職員の健康被害の防止を図るとともに、産業医から感染症等に関する最新の知見・情報を得て、対策に役立てた。

衛生委員会開催 月1回 計12回

2 施設の維持管理

(1) 設備修繕を適切に実施し、施設の長寿命化を図った。

修繕内容	委託業者	作業日
作業ルーム3 エアコン修繕	穂久斗工業	6/3
防火警報用リレー部品交換	河本総合防災	7/11
煙感知器不良交換	河本総合防災	7/22
地下廊下照明点灯不良	わきざき電腦サービス	9/18
壁面高圧洗浄	小林住設	10/9
地下男子トイレ非常呼出ボタン交換	AICOM	11/25
排水管高圧洗浄	野崎工業所	12/13
非常用出口誘導灯交換	河本総合防災	3/9
誘導鈴交換	AICOM	3/13
駐車場車止め交換	小林住設	3/13

(2) 備品、器具什器の更新を計画的に行った。

品名	購入日	価格
デスクトップパネル	5/27	99,964円
デジタルワイヤレスアンプ	6/20	72,920円
ビジネスプロジェクター	10/1	253,000円

(3) 施設の機能を維持するために、適正な業務委託と保守点検を行った。

業務委託項目 (委託業者)	内 容	実施日
清掃	毎日の日常清掃及び年2回定期清掃	定期清掃 6/15、11/15、16
警備	出入管理、巡回等警備16:45~22:15	休館日を除く全日

機械警備	火災、ガス漏れ、盗難及び不良行為の拡大防止のため 夜間機械警備22:30～翌日8:30、閉館日全日	休館日を含む全日
廃棄物収集運搬	一般・産業廃棄物の運搬、回収、処理	一般廃棄物 週3回 産業廃棄物 11/20
消防用設備保守点検	消火器具、屋内消火栓設備等の保守点検 (法定点検年2回、自主点検月1回)	法定点検 7/22、1/8 自主点検
電気時計設備保守点検	日常点検(年2回)	9/2、2/18
自家用電気工作物保守点検	受電設備、配電設備等の保守点検 (月次点検年6回 年次点検年1回)	年次点検 11/15
電話交換機保守点検	日常点検(年2回)	6/2、12/11
冷温水発生機保守点検	冷温水発生機保守点検・冷暖切替 (年3回)	中間点検 8/6 切替点検 5/1、10/29
エレベーター等保守点検	エレベーター保守点検(月1回) 24時間遠隔監視	4/15、5/29、6/10、7/8、 8/19、9/9、10/21、1/11、 12/9、1/14、2/10、3/10
送風機空調設備保守点検	吸気ファン、排気ファン保守点検(年1回)	2/21
建築設備定期点検	定期保守点検(年1回)	11/10
防火設備定期点検	定期保守点検(年1回)	1/8
自家発電設備負荷運転点検	定期保守点検(年1回)	3/6
自動扉保守点検	自動扉の保守点検・清掃・試運転(年4回)	4/16、7/29、10/9、1/7
樹木剪定	敷地内樹木剪定(1回)雑草除去(2回)	樹木剪定 10/10 雑草除去 6/28 10/11
害虫防除	館内・厨房害虫防除(年2回)	6/20、11/21
簡易専用水道検査	受水槽水質検査(年1回)	2/24

- (4) 光熱水費使用量の推移を職員に定期的に開示することにより、省エネルギー意識を高めた。

毎月1回 年12回 エネルギー購入量報告書を作成

- (5) 福祉団体等に対する研修室の貸出を行った。

貸出団体数 3団体 貸出回数 39回

3 災害対策

- (1) 福祉避難所の備蓄物品の管理体制を整備し、データベースのメンテナンスを実施した。
(2) 各種災害を想定した防災訓練を実施した。

日 時	内 容	参加者
6月25日	地震・火災を想定した通報訓練、避難誘導訓練、水消火器による消火訓練	131名
12月3日	火災を想定した通報訓練、初期消火訓練、	128名

	避難誘導訓練、水消火器による消火訓練、 煙ハウス体験	
--	-------------------------------	--

4 感染症対策の継続

- (1) 館内の定期的な消毒と換気を徹底した。
- (2) 利用者、職員、来館者の検温、状況に応じたマスク着用、手洗い及び手指消毒を徹底した。
- (3) 感染症等の最新情報を把握し、利用者、職員、来館者の感染防止に努めた。

2 障害者支援センター相談支援事業所

○事業の概要

障害福祉サービス利用申請に当たって必要となるサービス等利用計画の作成及び施設や精神科病院等からの退所・退院を希望する障害者の地域移行・地域定着支援を、基幹相談支援センターと連携して行う。

○重点目標

障害者の多様なニーズに応えられるよう研修等で時代に即した支援に係る知識とスキルを高め、他分野を含めた地域の機関と連携した支援を行う。

○実施結果

1 指定特定相談支援事業

障害者総合支援法に基づき、適切なアセスメントによるサービス等利用計画の作成及び継続サービス利用支援として訪問の他、必要に応じて電話等を活用したモニタリングを実施し、対象者が必要とするサービス等を利用するための支援を行った。

単位：人（3月末時点）

年度	契約者数
R7	226
R6	240

2 指定一般相談支援事業

施設入所の障害者又は精神科病院等に入院している精神障害者の地域移行に関する支援や、単身等の地域で生活する障害者について、連絡体制の確保や緊急事態において相談や便宜の供与を実施した。

単位：人（3月末時点）

年度	契約者数(※)
R7	0
R6	1

(※) 年間対応実人数

3 障害児相談支援事業

児童福祉法に基づき、適切なアセスメントによる障害児支援利用計画の作成及び継続障害児支援利用援助として訪問の他、必要に応じて電話等を活用したモニタリングを実施し、対象者が必要とするサービス等を利用するための支援を行った。

単位：人（3月末時点）

年度	契約者数
R7	10
R6	13

3 障害者支援センター多機能型事業所

多機能型事業所の通所機能を活かし、利用者が望む地域生活を送れるよう、利用者それぞれの目標の実現に必要な支援を行う。

利用者一人ひとりのニーズを把握し、必要な意思決定支援を行い、事業所や企業で働くことへの支援、個々に合わせた作業提供、安心安全な医療的ケアによる快適で充実した場の設定等利用者の望む生活の実現を図る。

○実施結果

1 個別支援計画の作成

利用者の希望や目標を実現するため、利用者の意思を最大限尊重し、具体的な支援の内容を記載した個別支援計画の作成を行った。

事業	作成人数	詳細
生活介護①	16	6 か月に 1 回以上作成
生活介護②	5	6 か月に 1 回以上作成
自立訓練	9	3 か月に 1 回以上作成
就労移行	8	3 か月に 1 回以上作成
就労継続支援 B 型	5	3 か月に 1 回以上作成
就労定着支援	19	6 か月に 1 回以上作成

2 日常生活の支援

(1) 食事の提供

単位：食

事業	年間提供食数
生活介護①	1,049
生活介護②	854
自立訓練	2,081
就労移行	906
就労継続支援 B 型	907

(2) 健康管理

ア 健康相談、健康状態の確認

医療的ケア総括医に対し、通所者である重度心身障害者の健康状態を共有し、医療面に関わる相談を行った。また、2月に1回、精神科医が来所し、利用者及び家族の精神的なことに関わる健康相談を実施した。

精神科相談	延べ 5 人・4 回(8/26、9/29、10/17、11/19)
医療的ケア 総括医への相談	・医療的ケア委員会の開催 ・気管カニューレ抜去時等や体調不良等による緊急時における体制強化のための訓練等

イ 健康診断

健康診断実施機関で実施した。

受診回数	8 回(8/5、8/7、8/19、8/21、8/26、8/27、9/4、9/9) 健康診断実施機関：総合相模更生病院
------	---

(3) 防災、安全

ア 防災訓練の実施

合同防災訓練実施	2 回(6/25、12/3)
----------	----------------

イ 交通安全意識の啓発

交通安全に関する 講座の開催	1/28	・ライフサポート講座 安心安全「交通安全」(自立訓練) ・自立促進プログラム 生活力アップ講座「交通安全」(就労移行)
-------------------	------	--

(4) 相談支援

各事業で随時行った。

(5) 苦情解決、権利擁護

苦情解決	0 件	・苦情の申立はなかった
福祉オンブズマン ネットワーク	相談者 16 名	【通常活動】 ・来所回数 10 回(4/9、5/21、6/11、7/9、9/10、10/8、 11/12、12/16、2/4、3/11) 【その他イベント】 ・「オンブズマン当事者交流会」11/28

(6) 一人ひとりの働き方に合わせた作業提供

生活介護①	・CD や DVD の分別作業 ・ベーカリー「麦の穂」の販売応援、店舗レイアウト。 ※ 生活介護②利用者と共に、作業を実施。利用者が、その日取り組みたい作業に取り組めるよう、ひとり一人の状況に配慮し、作業に参加した。
生活介護②	・生活介護①利用者の作業面のサポート ・給食提供が円滑に行われるよう、環境整備 ・CD や DVD の分別作業 ・名刺作成 ・企業受注作業(組み立て、シールはがし)
自立訓練	・箱折り作業 ・企業受注作業 ・マスコットづくり(フェルト作業)
就労移行	・箱折り作業 ・企業受注作業(組み立て、シールはがし) ・クリーニングたたみ作業(施設外就労)
就労継続支援 B 型	・ベーカリー「麦の穂」運営(パン製造、販売)

3 契約説明会の開催

新規利用者・各事業 利用者向け 契約説明会	2/25	・令和 8 年 4 月より利用予定者 2 名(自立訓練事業)参加 ・生活介護②、自立訓練、就労移行、就労継続支援 B 型利用者 参加
-----------------------------	------	--

4 利用者満足度調査の実施

利用者満足度調査を実施し、サービス向上に活かした。

例) もう少し利用時間を長くしてほしい。→本人家族と適切な利用時間について、綿密に話し合うことで解決

5 「卒業後のわたしたち」実践報告（福祉研修センターと共同企画）の実施

実践報告 「卒業後のわたしたち」	7/11	利用者やその家族が日々感じていることや、日頃の活動を発表した。
---------------------	------	---------------------------------

6 松が丘園利用者自治会の設置に向けた準備

- ・生活介護①利用者の家族向け会議を開催し、代表者を決定した。
- ・社会人研修受講者に対し、自治会や選挙について説明

7 第三者評価

利用者へ提供するサービスの質の向上を図るため、第三者機関へ評価を依頼した。

評価機関	公益社団法人神奈川県介護福祉士会
評価期間	令和7年11月～令和8年2月
評価内容	・自己評価 ・利用者アンケート ・訪問調査 ・PDCAサイクルに基づいた「発展的評価項目」と「課題抽出項目」
評価結果	専門性の高い支援と利用者主体の取組を両立しながら、地域との関係性も重視した運営がされている障害福祉サービスの中核的役割を担う事業所として高く評価された。なお、詳細については評価機関のホームページを参照のこと。

3 障害者支援センター多機能型事業所

(1) 生活介護事業①

○事業の概要

医療的ケアが必要な方や、日々体調に合わせた生活に関するケアの必要な利用者を対象に、安楽な環境を支援するリラクゼーション（休息）、健康管理、医療的ケア、食事の提供を行いつつ、利用者の意思や希望を明確にし、可能な限りの社会参加を実現する。

○重点目標

- 1 利用者の意思や希望を明確にするための会議を開催し、それに基づく活動や社会参加の場を提供する。
- 2 地域の重度障害者の活動先拡大を目的とした事業所訪問の拡充を図る。
- 3 日々の活動に安定して参加できるよう、利用者の体調不良時及び日々の状態にあわせ、個人の意思・特性を尊重した健康管理を行う。

○基本的事項

- 1 利用者数（3月末日現在） 単位：人

年度	契約者数	うち要医療的ケアの人
R7	16	11
R6	17	12

*全員が重症心身障害者認定及び障害支援区分6

- 2 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R7	239	12	1,470	51.3%
R6	238	12	1,777	62.2%

*松が丘園祭の振替休日を設けなかった。

- 3 入退所の状況 単位：人

	人数
入所	1
退所	3

○実施結果

- 1 日中プログラム

	プログラム等	実施日 回数等	内 容
1	本人の意思を尊重した創作活動・園芸活動	随時	お花見、盆踊り、母の日製作、かき氷づくり、涼を感じる、サマーバケーション、リモート旅行
2	作業活動への参加に伴う工賃の受取り	197回	17名が受け取り 総額 25,780円（平均131円/月）
3	社会体験	6/11 6/24	高尾山 宮ヶ瀬ダム

2 医療的ケア

栄養剤や水分、ミキサー食の注入や喀痰吸引等の医療的ケアを実施した。

医療的ケアの実施状況

単位：回

年度	注 入	吸 引	吸 入	酸素吸入	その他	合 計
R7	615	431	84	154	58 (人口呼吸器管理 57)	1,342
R6	803	628	163	134	142 (人口呼吸器管理 40)	1,870

3 安楽な環境の支援

1	姿勢(ポジショニング)の調整と工夫	看護研修で取得した、ポジショニングに関する知識を活用し、利用者の個に合わせた姿勢を検討し、実施した。
2	リラクゼーション	利用者に対し、声かけを伴うマッサージを行い、利用者が安楽な状態を引き出した。
3	安全・安心な活動空間の整備	利用者の特性や、その時の全身状態や心理に合わせた、安心できる空間を作り出すために、ベッドや車いす等の配置を精査し、環境設定した。

4 送迎

一人ひとりの状況に合わせた安全な送迎を、リフト車等を利用して行った。送迎時に利用者の状況について、家族との情報共有を行った。

送迎回数

単位：回

年度	リフト車	ワゴン車等	合 計
R7	1,283	9	1,292
R6	1,184	184	1,367

5 作業に関する意思を明確にする会議の開催

生活介護②利用者が日々生活介護①利用者に関わる中で感じた情報を収集し、生活介護①職員へ伝達する会議を開催した。

開催回数	実施日
8回	5/14、5/21、6/3、7/2、7/30、11/12、1/7、3/25

※生活介護② 実施結果1-(4)「生活介護②利用者が、生活介護①利用者を知る」と同様

6 医療的ケア委員会

嘱託医その他必要な職員の参加による医療的ケア委員会を開催し、医療的ケアの情報共有及び安全性の確保と適正な実施のための検討を行った。

開催回数	開催日	内 容
12回開催	4/23、5/21、6/18、7/16、8/20、9/17、10/29、11/19、12/10、1/21、2/25、3/25	嘱託医と連携し、その時期に流行している感染症等の情報を受けると共に、医療的ケアについての情報共有と安全性の確保と適正な実施に向けた助言を受けた。

7 職員の資質向上

相模原市内において重症心身障害児者の支援に携わる、または今後携わる職員を対象に、必要な知識・技術の習得及び専門性の向上のための研修を行った。

- (1) 重症心身障害児者の総合的な理解と介護技術向上のための体系的な研修（地域障害者施設支援事業との共催）

研 修 名	内 容
相模原市重症心身障害児(者)・医療的ケア児等看護研修	【重症心身障害児(者)の「こころ良さ」を目指して】 講義及び演習（11/11） 【重症心身障害児(者)の摂食について ～口から食べる楽しみを安全に～】 講義(12/11)、演習(1/16) 【人口呼吸器のケアとアラーム対応】 講義(1/22)

- (2) 摂食・ポジショニング等のケア検討会

摂食ケア検討会を開催のため講師と調整したが、日程が合わず実施に至らなかった。

- (3) 看護師や生活支援員のスキルアップを目的とした高度医療ケアの必要な障害児者に関する専門研修

(1) の研修を事業所内看護師及び生活支援員が受講することで専門的技術向上を図った。

7 気管カニューレ抜去時等や体調不良等による緊急時における体制強化

気管カニューレ抜去時等や体調不良等緊急時における連絡体制及び対応を想定した訓練及び振り返りによる緊急時マニュアル等の見直しを行った。

開催日	訓練内容
12月5日	・緊急時に使用する物品の置き場所を確認し、緊急時でも物品を探さず、円滑に対応ができるよう図った。 ・医療用品確認。(酸素ボンベの充填、アンビューバッグ確認) ・緊急連絡ベルのテスト動作。

9 関係機関との連携

- (1) 重症心身障害児者ネットワーク会議の事務局の役割を担った。

会議名	開催回数	開催日・内容
重症心身障害児者ネットワーク会議	4回開催	5/29、8/28、11/27、2/26 市内重症心身障害児者の支援者間のネットワーク構築及び、課題検討等を目的に、事務局として会議運営を行った。

- (2) 神奈川県重症心身障害児者関係施設協議会への参加

部会名	参加日	内 容
通所部会 (5回開催)	5/27、7/22、9/30、11/25、 1/27 参加	県内の重症心身障害者が通所する施設が集い、課題や情報を共有し、活動報告を行うことで、施設間の連携力を強めた。
看護部会 (5回開催)	7/1、9/2、11/5、11/4、1/13	県内の重症心身障害者が通所する施設の看護師が集い、日頃の医療的ケアや利用者への支援等を情報共有し、より専門性を高めた。
幹事会 (12回開催)	4/9、5/13、6/11、7/8、 8/8、9/12、10/10、12/12、	神奈川県重症心身障害児者関係施設協議会の運営として各部会、研修、関係機関との連

	1/9、2/13、3/13	絡会等を実施。
--	---------------	---------

(3) 医療的ケア技術向上支援のための市内生活介護事業所等への訪問

医療的ケアについて理解促進のため、市内の医療的ケアを取り入れていない事業所（1事業所）へ訪問し、医療的ケアについて説明を行った。

訪問事業所名	サニースポット相生（就労継続支援B型）
被説明者	1名（施設長）

3 障害者支援センター多機能型事業所

(1) 生活介護事業②

○事業の概要

病気や事故等で身体等に障害があり、働きたいと望んでいるにも関わらず通所に制限がある方の働きたい気持ちに寄り添った作業提供を行う。

○重点目標

- 1 利用者が元気にやりがいをもって作業できるよう、個々の希望にあわせた作業やプログラムを提供する。
- 2 生活介護①利用者の作業参加にあたり、生活介護②利用者が主体的に関われる体制の基礎作りを行う。

○基本的事項

1 利用者数（3月末日現在） 単位：人

年度	契約者数	区分内訳	
R7	5	区分5	1
		区分4	3
		区分3	1
R6	6	区分5	1
		区分4	3
		区分3	2

2 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R7	238	10	1,064	44.6%
R6	237	10	1,094	46.2%

3 入退所の状況 単位：人

	人数
入所	0
退所	1

○実施結果

1 作業能力向上プログラム

時給50円を支払い、個々のペースで作業ができるよう配慮した。

年度	工賃合計	延べ支給人数	平均工賃(月額/人)
R7	317,550 円	64 人	4,962 円
R6	330,550 円	70 人	4,722 円

(1) 企業受注作業

- ア CD、DVDの分別作業（リサイクル会社からの依頼）
- イ 箱折り作業
- ウ 名刺印刷
- エ クリーニング会社の洗濯袋干し

(2) 特別作業（サポート作業）

食堂管理（布巾洗濯、喫食状況確認票の日々設置及び集計、手洗い石鹸の管理、日々のメニュー掲示）

(3) 個々の適性に配慮した作業提供

利用者ひとり一人の作業能力ややりがいを考慮し、受注や納品に合わせて作業提供した。

(4) 生活介護①利用者の作業サポート

生活介護②利用者が、生活介護①利用者の作業に対する反応を観察しながら、作業サポートを実施した。

（例）対象利用者が作業に参加するときは、特定の音楽を流す

(5) 生活介護②利用者と生活介護①の職員との情報交換

生活介護②利用者が日々生活介護①利用者に関わる中で感じた情報を収集し、生活介護①職員へ伝達する会議を開催した。

実施日	8回	5月14日、21日、6月3日、7月2日、30日、11月12日、1月7日、3月25日
-----	----	---

※生活介護①事業報告 ○実施結果 5作業に関する意思を明確にする会議の開催と同様

2 自立促進プログラム

	プログラム等	実施日	内 容
1	将来について考える講座 (グループワーク)	6月11日 6月18日	2の「成年後見制度」を学ぶために、グループワークにより、将来の生活を具体的にイメージすることを目的に開催した。
2	地域の社会資源を知る	7月9日	講義形式で、成年後見制度等、親亡き後一人暮らしをするのに必要な手続き等をサポートしてくれる資源を学んだ。
3	健康プログラム	5月28日 7月2日 8月4日 9月10日 11月26日	麻溝公園散策 相模川ふれあい科学館 女子美ミュージアム観賞 相模原市立博物館プラネタリウム 宮ヶ瀬ダム散策
4	身だしなみ講座(応用編)	1月28日	加齢による体の変化について

3 その他

	プログラム等	実施日	内 容
1	社会人研修		参加希望者なし
2	社会体験	11月13日 2月18日 1月28日	「職業リハビリテーション研究・実践発表会」発表・見学 東京タワー散策(貸し切りバスの利用)

			ここのわ愛川事業所見学(CD/DVD 分別作業見学)
--	--	--	----------------------------

3 障害者支援センター多機能型事業所

(2) 自立訓練（生活訓練）事業

○事業の概要

特別支援学校卒業生等で、将来的に一般就労を目指す若年の障害者に対し、就労に向けた準備や、自立した生活を目指すための経験や技術を獲得できる多様なプログラムを提供する。

○重点目標

- 1 利用者が、自身の将来を具体的にイメージし、目標設定できるよう、就労移行支援事業や就労定着支援事業の利用者と関われる場を設定する。
- 2 利用者が自立訓練事業での生活や自身が考えている事等を、地域の支援機関の人や、外部の人に発表することで、利用者の自信向上へとつなげる。

○基本的事項

- 1 利用者数（3月末日現在）単位：人

年度	契約者数
R7	9
R6	10

- 2 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R7	238	14	2,188	65.7%
R6	237	14	2,284	68.8%

○実施結果

- 1 作業能力向上プログラム

企業受注作業

年度	工賃合計	延べ支給人数(人)	平均工賃(月額／人)
R7	168,700 円	117	1,442 円
R6	173,270 円	120	1,444 円

- 2 就労準備基礎プログラム

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	企業見学	7月23日	株式会社 ワタキューセイモア
2	インターンシップ(職業体験)	延べ2人 延べ4日間	けやき体育館(掃除)
3	ビジネスマナー講座	5月15日 6月19日 7回開催 7月24日 2月24日	就労の心構え ルールとマナー 就労者に話を聞く ビジネスマナー講座① ビジネスマナー講座②
4	履歴書の書き方	11月21日	自分の履歴書を書いてみる
5	仕事体験	3月18・19日	スーパーのバックヤード体験

6	就労定着支援事業 利用者との交流	12 回	就職後の生活に必要な事や知っておいた方が良い 事などを就労定着支援事業利用者に語ってもらう
---	---------------------	------	--

3 自立促進プログラム

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	生活力を高める講座 (制度について)	11 月 13 日	一人暮らしに必要なものとは？(電気、ガス、水道、 家賃、ゴミ、買い物)
2	コミュニケーショント レーニング	随時個別	利用者が課題と思われる行動や発言をした際に、と もに振り返る
3	金銭管理	7 月 28 日 12 月 21 日	小遣い帳記帳練習及び実際の店舗で通貨を使用 する
4	創作講座	随時	よさこい用はちまきづくり、名札づくり、ペンスタンド 作り、雑巾作り
5	保健衛生講座 「感染症予防対策」	5 月 22 日	人体に影響のあるウイルス、菌等について理解を深 める
6	家事講座	8 月 21 日 1 月 26 日 11 月 27 日	靴の洗い方 洗濯 ゴミの分別
7	自分の将来を考え る講座	2 月 27 日	グループワークで、それぞれの考えを共有した

4 資格取得促進プログラム

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	ビルメンテナンス講 座	6 月～9 月 9 人受講	ビル清掃の基礎的な技術を学んだ
2	サービスケアサポー ター・介護職員初任 者研修	9 月～2 月 8 人合格 9 月～2 月 9 人取得	介護職員初任者研修(旧訪問介護員(ホームヘルパー)2 級養成研修) サービスケアサポーター

5 体力増進プログラム

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	よさこい	113 回実施	体力がつき、表現することで自信につながった。
2	パークゴルフ	3 回実施 延べ 27 人参加	パークゴルフ協会のサポートのもと実施

6 ライフサポート講座

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	安心安全	10 月 31 日 12 月 15 日 1 月 23 日	防災対策 防犯対策 交通安全

		10月26日 12月15日	公共交通機関のルール スマートフォン安全利用
2	食育	4月24日 12月21日	(基礎編) 食育講座 レストランでのマナー(講義編)
		6月13日 7月28日 8月25日 9月19日 12月25日	(実践編) 食事のマナーを知る バーチャルレストラン カロリーについて コンビニ弁当について 季節の料理を知る
4	自立生活力向上	1月6日 3月18・19日	「グループホームを学ぶ」 「地図を見て目的地へ行く」
5	制度の利用	1月6日	「生活に必要な事務手続きについて」

7 その他

	プログラム	実施日、回数 人数等	内 容
1	社会人研修	3月5日	自身の社会人を試すため、事業所独自に作成したテストを受験した。
2	地域との交流活動	8月1日	放課後等デイサービス(きやらっと)とのイベント (よさこい、紙芝居等)
		7月12日 10月3日 10月11日 10月19日 11月21日 11月22日 11月28日 12月21日 11月30日 2月15日 3月7日	【よさこい発表】 津久井支援学校 星が丘自治会敬老会 ほかほかふれあいフェスタ 星が丘フェスティバル 中央支援学校 交流デイ さがみはらゆめプロジェクト オンブズマン交流会 文化芸術祭 シルバータウン大野台ケアセンター さがみはらゆめプロジェクト 星が丘公民館まつり
		2月15日	発達障害啓発活動 相模原市広報番組「ぞっこん! 相模原」に出演 ※上記“さがみはらゆめプロジェクト”参加時に撮影
3	余暇支援講座(余暇の必要性を学ぶ)	3月10日	利用者それぞれが、余暇の過ごし方を発表しあった。 ※就労移行 事業内容 5 その他 (2)余暇活動支援(「輝いているときとはどんなとき?」を話し合う)と合同

3 障害者支援センター多機能型事業所

(3) 就労移行支援事業

○事業の概要

一般就労を希望する障害者に、作業や施設外就労を通じて就職の場の実践的な訓練を行うとともに、職業準備性を高めることを目的としたプログラムを実施し、一人ひとりにあった就労先を確保する。

○重点目標

既に就労した利用者と交流することで、就労までに準備することや、就職後の生活の在り方等を学ぶ。

○基本的事項

1 利用者数（3月末日現在） 単位：人

年度		契約者数	合 計
R7	ベーカリー班	2	5
	企業受注班	3	
R6	ベーカリー班	2	9
	企業受注班	7	

2 各月の契約者数の推移（当該月の最大値） 単位：人

年度/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年平均
R7	10	9	9	6	6	6	6	6	6	5	5	5	6.6
R6	12	12	11	11	11	11	10	10	10	10	9	9	10.5
R5	8	8	8	8	9	9	7	7	7	7	7	7	7.7

3 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R7	238	14	1,461	46.1%
R6	237	14	2,369	71.4%

4 就労状況

年度	人数	就労先
R7	7	三菱重工業(株)、ウェルハーツ小田急(株)、日本郵便(株)(神奈川西郵便局、麻生郵便局、相模原郵便局、橋本郵便局)、
R6	5	三菱重工業(株)、(株)オープンアップウィズ、ミヤジフーズ(株)、アマゾンジャパン合同会社、日産自動車(株)、

○実施結果

1 作業能力向上プログラム

	作業種類	内 容
1	企業受注作業	箱折り、DVD分解・清掃、洗濯袋たたみ
2	施設外就労	ワタキューセイモア(株)のクリーニング工場でのたたみ作業

年度	工賃合計	延べ支給人数	平均工賃(月額/人)
R7	1,001,110 円	80	12,514 円
R6	1,817,950 円	124	14,661 円
R5	1,322,130 円	89	14,855 円

2 就労準備プログラム

	プログラム等	実施日、回数人数等	内 容
1	ビジネスマナー講座	12 月 25 日・5 人受講 随時	清掃入門 面接練習
2	企業見学	延べ14人・10日	三菱重工業(株)、ウェルハーツ小田急(株)、日本郵便(株)(神奈川西郵便局、麻生郵便局、相模原郵便局、橋本郵便局)、TRM(株)、パルシステム、日産自動車(株)
3	インターンシップ (職業体験)	延べ 2 人・10 日	リコーエスポワール(株) (株)ウェルハーツ小田急
4	履歴書の書き方	随時実施	自分の履歴書を書いてみる
5	就活講座	1 月 13 日・5 人受講 1 月 19 日・4 人受講	「就職に向けたイメージづくり」 「困難な場面に遭遇したら」
6	就労者との交流	6 月 16 日・5 人受講	就労定着支援利用者による、自身の業務や生活の紹介

3 一般就労移行支援プログラム

	プログラム等	実施日、回数人数等	内 容
1	面接対策講座 (基礎実技編)	8月1日・6人受講	
2	面接対策講座 (実践編)	8月29日・6人受講	オンライン学習プログラムを活用
3	ハローワーク 利用法講座	8月1日・6人受講	就労援助センターと連携し実施
4	求職活動支援	随時実施	自分の履歴書を書く
5	職場定着支援 (相談)	12 回・6 名	三菱重工業(株)、ウェルハーツ小田急(株)、日本郵便(株)(神奈川西郵便局、麻生郵便局、相模原郵便局、橋本郵便局)
6	就職ガイダンス	7 月 4 日・3 人受講	
7	職業評価	1 人	幕張ワークサンプル実施
8	TTAP (ティータップ)	1 人	

4 自立促進プログラム

	プログラム等	実施日、回数人数等	内 容
1	生活力アップ 講座	12 月 5 日・2 人受講 1 月 28 日・3 人受講 3 月 19 日・3 人受講	「消費者トラブル」 「交通安全」※自立訓練事業と合同 「地図を見て目的地を目指す」
2	こころのセルフマネ	10 月 20 日・5 人受講	「自分のすごいところを知ろう」

	ジメント講座		
3	コミュニケーショントレーニング	2月25日・3人	「人とのつきあい方について」

5 その他

プログラム等		実施日、回数人数等	内 容
1	社会人研修	3月5日	自身の社会人を試すため、事業所独自に作成したテストを受験した。
2	余暇活動支援	3月10日	「輝いているときとはどんなとき？」を話し合う ※自立訓練 事業内容 6その他 (3)余暇支援講座(余暇の必要性を学ぶ)と合同
3	就労アセスメント		該当者なし

*1 TTAP（ティータップ）…興味や強みを明確にするアセスメントツール(自閉症スペクトラム移行アセスメントプロフィール)

3 障害者支援センター多機能型事業所

(4) 就労継続支援B型事業

○事業の概要

働くことを希望する知的障害者等が「麦の穂」の運営に主体的に関わり、利用者と職員が丸となり収入向上等の目標達成に向けて取り組むことで、働く喜びへと繋げていく。

○重点目標

- 1 作業の検定制度を導入することで、利用者が働く喜びを感じられ、キャリアや成長を望めるよう体制整備する。
- 2 外部販売の充実により売上向上へと繋げる。

○基本的事項

1 利用者数（3月末日現在）

年度	契約者数
R7	5
R6	5

2 年間利用状況

年度	開所日数	定員(人)	延べ利用人数	利用率
R7	238	10	958	40.3%
R6	237	10	1,531	64.6%

○実施結果

1 作業能力向上プログラム

(1) 食品製造、販売作業（パン、クッキー販売）

年度	工賃合計	延べ支給人数	平均工賃(月額/人)
R7	2,593,930 円	60	43,315 円
R6	2,931,870 円	94	31,190 円

(2) 販売戦略会議

年度	開催回数	開催月日
R7	8回開催	4/28、6/13、7/30、9/22、12/26、1/30、2/24、3/23
R6	9回開催	7/12、8/30、9/27、10/30、11/25、12/26、1/24、2/21、3/27

(3) 作業の検定制度導入

1月30日（金）の販売戦略会議で検定制度の概略を利用者へ説明し、意見を求め同じく3月23日（月）の会議時に改良したものを発表した。令和8年5月より開始することとなった。

(4) 視察研修

プラントンタン (就労継続支援 B 型事業)	2月12日	当事業所と同じ就労継続支援 B 型事業所を見学することで、情報交換し、利用者同士、職員同士が良いところを取り入れ合うことができた。
---------------------------	-------	---

2 自立促進プログラム

	プログラム等	実施日	内 容
1	将来について考える講座 (グループワーク)	6月11日 6月18日	2の「成年後見制度」を学ぶために、グループワークにより、将来の生活を具体的にイメージすることを目的に開催した。 ※生活介護②と合同開催
2	地域の社会資源を知る (手続編)	7月9日	講義形式で、成年後見制度等、親亡き後一人暮らしをするのに必要な手続き等をサポートしてくれる資源を学んだ。 ※生活介護②と合同開催
3	地域の社会資源を知る (運動編)・健康講座	2月12日	プラントンタン視察研修の後に宮ヶ瀬ダムを散策し、自然の中を歩くことでストレス発散ができることを学んだ。
4	身だしなみ講座(応用編)	1月28日	加齢による体の変化について ※生活介護②と合同開催

3 その他

	プログラム等	実施日	内 容
1	社会人研修	3月 5 日	自身の社会人力を試すため、事業所独自に作成したテストを受験した。
2	売上達成に伴う祝賀イベント	3月 30 日	昨年度の売り上げを超えることはできなかったが、次年度こそ超えることを利用者、職員一同決起することで、イベントを開催した。 料亭レストラン「徳寿庵」で慰労会開催。

3 障害者支援センター多機能型事業所

(5) 就労定着支援事業

○事業の概要

就労移行支援事業等の利用を経て一般就労した障害者に対し、一人ひとりの契約者が持ち前の力を雇用先で発揮できるよう、企業や家庭等と連携を図り、職場定着に必要な支援を行う。

○重点目標

契約者が、それぞれやりがいを感じる活動に取り組むことで、働く意欲の向上へと繋げる。

○基本的事項

1 契約者数（3月末日現在） 単位：人

年度	延べ契約者数	総利用者数
R7	14	159
R6	18	181

○実施結果

1 職場定着支援

- (1) 就労者の職場定着を支援するため、企業への巡回訪問や、利用者や家族等の面談を行い、企業や家庭との連携を図った。

単位：件

年度	契約者が就労する 企業への定期的な 訪問	契約者の来訪に よる面談	生活支援 (電話訪問等)	合 計
R7	56	101	31	188
R6	47	160	56	263

(2) 余暇活動への意識向上を目的としたホームカミングデーの開催

契約者が松が丘園を訪れ、自立訓練事業で実施しているよさこいソーラン節の練習に参加し、指導等を行った。

	イベント・プログラム	交流日	交流数	合計
グループワーク	自立訓練事業利用者との 交流会	4月28日	3人	14人
		5月12日	1人	
		6月9日	3人	
		6月16日	1人	
		6月23日	2人	
		9月17日	2人	
		10月8日	2人	

よさ 発表	津久井支援学校	7月12日		43人
	ほかほかふれあいフェスタ	10月11日	6人	
	星が丘フェスティバル	10月19日	2人	
	松が丘園祭	10月25日	1人	
	中央支援学校 交流デー	日	4人	
	さがみはらゆめプロジェクト	11月21日	3人	
	手塚芸術祭	11月22日	2人	
	シルバータウン大野台ケアセンター	12月21日	5人	
		11月30日	6人	
	さがみはらゆめプロジェクト	2月15日	6人	
	星が丘公民館まつり	3月7日	2人	
	自立訓練 卒業イベント(松が丘園)	3月30日	6人	
年間合計				57人

2 支援企業状況

単位：人

就 労 先	対象者数
(株)オープンアップウィズ	2
生活協同組合 パルシステム神奈川相模センター	1
(株)ヤオコー 八王子鍵水店	1
(株)ワールドスタッフィング	1
(株)キュービーネット(はーとふる農園)	1
三菱重工業(株)MHIファシリティサービス(株)	1
(株)ミヤジフーズ	1
アマゾンジャパン合同会社	1
エレコム(株)	1
日産自動車(株) 相模原部品センター	1
日本郵政株式会社 橋本郵便局	1
日本郵政株式会社 麻生郵便局	1
日本郵政株式会社 神奈川西郵便局	1

5 銀河

(1) 生活介護事業

○事業の概要

地域において安定した生活を営むため、常時介護が必要な障害者に対して、一人ひとりの個性に合わせた日中活動を提供し、「今日も楽しかった」の笑顔を大切にして、楽しく安心して過ごせるよう支援する。

○重点目標

- 1 家族や関係機関との連携を強化し、心身の状態の変化に合わせた支援を適切に行う。
- 2 自身で選択して決める場面を設定し、自己決定や意思を尊重した支援を行う。
- 3 親亡き後の将来を見据えて、今から取り組んでいくことを家族、関係者とともに考える。

○基本的事項

- 1 利用者数（3月末現在）単位：人

年度	契約者数
R7	43
R6	43

- 2 年間利用状況

年度	開所日数	定員（人）	延べ利用人数	利用率
R7	236	40	7,904	83.7%
R6	237	40	7,897	83.3%

○実施結果

- 1 日常生活の支援

利用者の現状と将来に向けての課題を明確にして取り組んだ。

- (1) 個別支援計画の作成

対象人数	実施内容
44	6か月に1回以上作成

- (2) 相談支援

随時相談支援を実施した。

- (3) 健康診断・健康相談

	実施機関等	実施日
健康診断	相和会産業健診センター	9/2
健康相談	青葉ふたまたクリニック 二俣医師	4/11、5/9、6/13、7/11、8/8、9/12 10/10、11/14、12/12、1/10、2/13、3/13

- 2 送迎

安全を第一に、利用者の利便性に配慮したルートで送迎した。

3 食事の提供

アレルギーや摂食機能に配慮した食事を提供した。

4 日中活動・活動プログラム

	プログラム名	内容及び実施日等
1	創作活動(手工芸など)	工作、小物、季節に合わせた作品等
2	音楽活動	音楽鑑賞、ピアノ絵本等
3	園芸活動	花木の手入れなどの園芸活動 季節の野菜、果物の栽培等
4	健康づくり(散歩・ダンスなど)	ラジオ体操や散歩、ダンス、エクササイズ(スクワット、腹筋等)、サイクルマシン等
5	マイチョイス(音楽・体操・図工など)	4/7、5/12、6/2、7/7、8/4、9/1、10/6 11/10、12/1、1/19、2/2、3/2
6	レッツミュージック	4/18、5/16、6/13、7/18、8/22、9/12 10/17、11/21、12/12、1/9、2/13、3/13
7	エクササイズ(体操・ヨガなど)	・体操 4/21、5/26、6/23、7/28、8/25、9/29、 10/27、11/17、12/22、1/26、2/16、3/23 ・ヨガ 4/8、4/22、5/13、5/27、6/10、6/24 7/8、7/22、8/5、8/19、9/9、9/16 10/7、10/21、11/4、11/18、12/9、12/23 1/13、1/27、2/10、2/24、3/10、3/24
8	ドライブ	市内のドライブを楽しんだ
9	カラオケ	ホールや活動室でカラオケを楽しんだ
10	リラクゼーション(エアートランポリン・光や音の感覚を楽しむ)	ホールや静養室で、エアートランポリン、サイドグローを楽しんだ
11	市内施設見学 (市立博物館・JAXAなど)	市立博物館、JAXA見学

5 行事

	行事名	内容及び実施日等
1	お楽しみイベント	9月～2月 9グループ (ズーラシア、スヌーピーミュージアム、バーベキュー、ロマンسカーミュージアム、レストラン、カラオケ)
2	銀河の森フェスタ	・フランクフルトを食べよう 10/7 ・ワッフルを食べよう 10/23 ・ハロウィン仮装撮影会 10/14～10/16 ・銀河内作品展 11/10～11/21 ・自主製品販売会 10/6～10/17
3	映画鑑賞	4/30、5/30、6/30、7/31、8/29、9/30、10/31 11/28、12/26、1/30、2/26、3/30
4	お花見	淵野辺公園の桜並木を楽しんだ。
5	夏祭り	8/18、8/21(2回に分けて実施)
6	松が丘園祭	・活動写真展示

		・自主製品販売 ・施設見学会
7	忘年会・新年会	・忘年会 12/15～12/19(各活動班で実施) ・新年会及び二十歳を祝う会 1/13
8	お茶会	銀河 10 周年祝賀会のため未実施
9	浴衣撮影会	7/11～7/14
10	作品出展	フジノ・ポーダレスアート「いろとりどり展」出展 11/8～11/16
11	自分発表会	利用者が、見学者へ対して取り組んでいる活動を紹介した。
12	10 周年記念イベント	・松が丘園祭でPR ・10 周年祝賀会開催(3 月 17 日(火)、けやき会館)

6 地域交流・ボランティア受け入れ

		実施日等
1	カット(理容)ボランティア	5/12(3 名来所、カット 14 名) 9/30(2 名来所、カット 16 名) 12/16(2 名来所、カット 18 名)
2	学生ボランティア	受け入れなし
3	その他ボランティア	マザーズバンド音楽交流会 7 名
4	近隣大学との交流	・和泉短期インターンシップ受け入れ 6 名 ・介護等体験実習受け入れ 3 名(延べ 36 日) 和泉短期大学、田園調布学園大学 ・福祉現場体験受け入れ 和泉短期大学 2 名(延べ4日)

7 その他

(1) 苦情解決・権利擁護

記載すべき内容はなし

(2) 福祉オンブズマンネットワーク活用

内容	来所日
・利用者個別面談	4/4、5/13、6/17、7/8、9/12
・活動の様子確認	10/14、11/11、12/18、2/5、3/5

(3) 利用者満足度調査の実施

実施期間	配布数	回答数
11/1～11/28	43	27

(4) 防災訓練の実施

内 容	実施日
総合防災訓練	6/25、12/3
避難訓練	4/10、5/8、7/10、8/7、9/11 10/9、11/13、1/8、2/12、3/12

(5) 「銀河だより」発行

内 容	発行月
新規利用者及び職員紹介	4月
前期活動の様子	10月
後期活動の様子	3月

(6) 家族報告会

内 容	実施日	人 数
・活動や行事の紹介 ・意見交換	9/26	・出席 15 名 ・活動紹介DVD配布 22名
・成年後見制度について学ぶ ・質疑応答	2/27	・出席 17名 ・活動紹介DVD配布 17名

(7) 事業所PRの実施

見学者等へ事業所のPRを実施した。

単位：人

受け入れ先等	延べ受け入れ人数
利用者及び家族、相模原支援学校、相模原中央支援学校 相模台中学校、相談支援専門員など	30

8 研修

(1) 外部派遣研修

単位：人

内 容	派遣人数
自閉症基礎セミナー	1
高次脳機能障害セミナー	1
サービス管理責任者(実践研修)	2

(2) 内部研修

内 容	実施日
障害特性の理解	4/10、5/20、11/19
実践報告会	1/21、2/17
安全運転確認	4/28、5/27、7/4、7/31、8/28 10/1、10/31、1/6、1/30、3/2

4 銀河

(2) ガイドヘルプサービス事業

○事業の概要

移動・外出に困難を有する障害者を対象に、移動の援護、排泄・食事等の介助、代筆・代読を含む視覚的情報の支援などを行うガイドヘルパーを派遣し、社会参加の保障及び余暇活動の充実による豊かな暮らしの実現を支援する。

○重点目標

利用者の身体状況等に配慮して安全に外出できるよう、状況把握やヘルパーへの指導を行うとともに、関係機関と連携する。

○実施結果

1 ガイドヘルプサービスの提供

(1) 移動介護

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R7	34	526	2,051 時間 30 分	3 時間 54 分
R6	38	580	2,043 時間 30 分	3 時間 31 分

(2) 通院介護

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R7	15	103	224 時間 00 分	2 時間 10 分
R6	16	139	302 時間 30 分	2 時間 10 分

(3) 同行援護

年度	契約者数	利用件数	延べ利用時間	平均利用時間
R7	46	1,882	8,623 時間 00 分	4 時間 35 分
R6	46	2,167	9,678 時間 00 分	4 時間 28 分

(4) コーディネート

ヘルパー派遣のコーディネートを行った。

2 ガイドヘルプサービスの質の向上

(1) 採用時研修（採用後 1 か月以内）

内 容	実施日	人数
・ガイドヘルパー業務について ・報告書及び活動の記録の記載方法について	4/4、5/9、9/8 11/10、2/6、3/12	7

(2) 定期研修

内 容	実施日	人数
・「登録ガイドヘルパーマニュアル」の確認 ・虐待防止研修	4/17、4/18 ※	38

・ヘルパーの情報交換、交流 グループワーク 「ガイド中の気づきを共有」「伝える、伝わるを考える」	10/9、10/10 ※	33
・虐待防止セルフチェックリスト ・「心のポジティブケア」セミナー しんどい気持ちを「宝物」に変える心の整理術	2/18	30

※同内容で2回に分けて実施

(3) フォローアップ研修

内 容	実施日	人数
・同行援護フォローアップ 「同行援護の基本を振り返る」 ・虐待防止セルフチェックリスト	7/9、7/10 ※	31

※同内容で2回に分けて実施

(4) 支援方法を共有するためのケアカンファレンス

コーディネーターから情報集約・発信し、ヘルパーと支援方法を共有した。

3 資格取得研修の開催

(1) 知的障害者ガイドヘルパー養成研修（一般向け）

実施期間	人数
第1回 ・座学(13時間)7/12、7/19 ・実習(6時間)7/23、7/25	7
第1回 ・座学(13時間)2/21～2/22 ・実習(6時間)2/25	5

(2) 知的障害者ガイドヘルパー養成研修（和泉短期大学受託事業）

実施期間	人数
・座学(13時間)10/14～10/15 ・実習(6時間)11/12、11/19	7

4 関係機関との連携

(1) 市及び地域の福祉サービス提供事業者、相談支援事業者との連携

市ケースワーカー、相談支援

5 障害者支援センター

(1) 障害者地域就労援助センター事業

○事業の概要

障害者及びその家族、企業等に対し、就労・雇用に関する相談、指導、情報提供を行うことにより、障害者等の働き方に関する多様なニーズに対応した就労支援及び雇用促進を図る。

なお、「障害者就業・生活支援センター事業」、「相模原市発達障害支援センター就労支援事業」との一体的な運営を行う。

○重点目標

障害者の働き方に関する多様なニーズに対応する新たな雇用形態の創出や相談機能を強化し、障害者雇用の拡充を図る。

○実施結果

1 就労相談

(1) 障害者等の就労に関する相談の実施

ア 登録者数

単位：人

年度	登録者数
R7	1,363
R6	1,311

イ 新規相談者及び新規登録者

単位：人

年度	新規相談者数	新規登録者数
R7	108	106
R6	147	122

ウ 相談件数

単位：件

障害種別 年度	身体	知的	精神	その他	合計
R7	255	2,038	2,035	312	4,640
R6	392	2,352	1,876	46	4,666

エ 長期の就労定着を見据えた計画的な職場訪問の実施

単位：件

年度	職場訪問件数
R7	314
R6	401

(2) 事業主に対する雇用管理等に係る助言等

ア 就労者数

単位：人

年度	就労者数	就労定着者数
R7	73	578
R6	61	563

※就労定着者数：年度末時点において５年以上同一の会社で継続して働く登録者の数

イ 事業主への相談件数

単位：件

障害種別 年度	身体	知的	精神	その他	合計
R7	42	757	554	20	1,373
R6	76	820	586	59	1,541

(3) けやき体育館との連携による就労相談窓口「障害者地域就労援助・けやき相談センター」を活用した相談及び適性把握に関する業務の実施

ア 相談件数

単位：件

年度	新規相談件数	継続相談件数
R7	0	113
R6	20	521

イ けやき体育館との連携による「けやきカフェ等」を活用した就労体験実習の実施

年度	延べ参加者数	回数
R7	5 人	5 回
R6	9 人	9 回

(4) 南区における就労相談の試行実施、津久井地区就労相談の拡充

ア 南区就労相談

年度	実施回数	相談件数
R7	23 回	46 件
R6		

イ 津久井地区就労相談

年度	実施回数	相談件数
R7	6 回	8 件
R6	5 回	3 件

(5) 福祉的就労も含む多様な働き方への相談対応とリエゾン体制(橋渡しとそれに伴う連携)の充実

市内の就労支援事業者等に対する支援

単位：件

年度	他支援機関への助言・支援件数
R7	283
R6	217

2 就労促進

(1) 就労準備講座の拡充

ア 就労準備プログラムの開催

年度	延べ参加者数	回数	主な内容
R7	25 人	5 回	各区で開催、面接練習会
R6	18 人	2 回	求人票の見方、面接の受け方、面接練習

イ 相模原市勤労者福祉サービスセンターとの連携による職場体験事業「あじさいメイツ 職場実習」の実施

年度	延べ参加者数	回数
R7	13 人	4 回
R6	12 人	4 回

(2) 大学及び関係機関との連携による、障害等で就労支援が必要な学生のための支援の実施

年度	訪問等回数	連携先
R7	5 回	放送大学、和泉短期大学、相模女子大学
R6	3 回	相模女子大学、嘉悦大学、横浜商科大学

3 職場開拓

(1) 短時間雇用受入れ先の開拓のための市内企業訪問、調査等の実施

ア 企業訪問・相談等、新規開拓、短時間就労者数

年度	企業訪問・相談等	新規開拓	短時間就労者数
R7	42 件	63 件	10 人
R6	26 件	22 件	13 人

イ 雇用・就労に向けた登録者と企業の適切なマッチング

単位：件

年度	開拓状況	協力企業	検討中企業
R7	1,373	77	0
R6	1,524	61	16

(2) 工賃アップ支援事業と連携した企業開拓

単位：件

年度	開拓状況
R7	63
R6	22

4 無料職業紹介事業

職業安定法に基づく、登録者からの求職受付、企業等からの求人受付並びに斡旋紹介を実施

単位：件

年度	事業所登録数	求人件数	求職票提出件数	紹介件数	就職件数
R7	22	31	106	31	31
R6	9	23	122	23	23

5 登録者支援

(1) けやき体育館との連携による登録者の集まり「さんさんサロン」の開催

アさんさんサロン

年度	実施日	実施回数	延べ参加者数	内 容
R7	6月22日ほか	5回	63人	居場所として活用し、日常の出来事の共有や、けやき体育館で行われる行事の見学・参加など インターネット被害未然防止講座(2回)
R6	6月16日ほか	5回	59人	居場所として活用し、日常の出来事の共有や、けやき体育館で行われる行事の見学・参加など

イ フォローアッププログラム

実施日	参加者数	場 所	内 容
5月24日	6人	エコパークさがみはら	お出かけをしよう ～みんなで食事を楽しもう～
9月28日	20人	カラオケ MAC's 古淵	お出かけをしよう ～みんなでカラオケに行こう～
1月25日	27人	相模原パークレーンズ	「ボウリング大会」
2月14日	31人	アリオ橋本	ランチを楽しもう

(2) 「就労援助センター情報」の発行

発行月	配布先
5月・8月・12月	就労援助センター登録者

6 市内の就労支援事業者等に対する支援

(1) 就労移行支援事業所等合同説明会の開催

実施日	参加者数	場 所	内 容
7月15日	22人	杜のホールはしもと	就労移行支援事業所、支援機関が各ブースを設け個別相談を受ける

(2) 就労継続支援B型事業所等と連携した、新たな就労ニーズに対応した協力体制の構築

実施日	参加者数	場 所	内 容
9月3日	61人	松が丘園	就労選択支援意見交換会
3月9日	26人	松が丘園	福祉事業所における短時間雇用支援を考える～就労支援ネットワーク構築に向けて～

7 関係機関等との連携及び就労支援ネットワークの構築

(1) 短時間雇用に関する企業向け講演会の実施

実施日	参加者数	場 所	内 容
11月11日	30人	松が丘園	企業×福祉でつくる ちょっとだけ働く 新しい雇用のかたち ～業務整理から出来る仕事の切り出し、事例に学ぶ雇用設計～

(2) NPO法人障害者雇用部会への参加

実施日	参加回数	内 容
5月16日ほか	8回	NPO法人障害者雇用部会 定例会及び分会への参加

8 職員の資質向上

専門スキルを向上させるための各種研修会への参加

年度	参加回数
R7	27回
R6	57回

5 障害者支援センター

(2) 障害者就業・生活支援センター事業

○事業の概要

就職希望の働く上で障害のある者（以下「障害者等」という）や在職中の障害者等に対して、雇用及び福祉の関係機関との連携の下、就業面及び生活面の一体的な支援を行い、多様な働き方のニーズに応じていく。

○重点目標

地域の支援機関や関係機関の連携及びバックアップを図るハブ機関として、圏域におけるネットワーク形成や支援機関及び企業の支援担当者等への支援ノウハウの移転等を行うことにより、地域全体の支援水準の底上げを図る。

○実施結果

1 相談・支援業務の実施

(1) 障害者等に対する必要な支援及び助言その他の援助

「5 障害者支援センター（1）障害者地域就労援助センター事業 1（1）参照」

(2) 中高年齢等障害者の継続雇用に関する相談支援

年度	対象者	定着支援
R7	4人	6件
R6	1人	2件

(3) 事業主に対する雇用管理等に係る助言等

「5 障害者支援センター（1）障害者地域就労援助センター事業 1（2）参照」

(4) 職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことのあっせん

単位：件

年度	実習件数
R7	42
R6	46

(5) 関係機関と連携したケース会議の開催及びこれらの機関との連携

単位：件

年度	他支援機関への助言・支援件数
R7	374
R6	217

(6) 圏域における支援者を対象とした、支援力向上に必要な研修等の実施

名称	実施日	場所	出席者	内 容
最新の障害福祉の 動向～就労選択支 援事業～	4月22日	松が丘園	86人	令和7年10月から始まる就労選 択支援事業について、専門家か らの情報提供
『就労選択支援の	9月3日	松が丘園	61人	就労支援ネットワーク構築に向

意見交換会』～就 労支援ネットワーク 構築に向けて～				けて、就労選択支援事業につい て、支援機関同士で情報交換を 行う場を提供
----------------------------------	--	--	--	--

(7) 在宅就業等を目指す障害者の実態把握及び相談支援

ア なかぼつセンター利用満足度調査（神奈川県事業）の実施

単位：枚

実施期間	送付数	回収数	結果
7月1日～18日	398	144	グループホームの支援を望む職場定着支援や障 害特性、能力にあった仕事探し、今後の生活につ いての支援を希望する意見が多くあった。結果を 踏まえ、生活支援についても今後、他機関連携も 含め検討する機会とした

イ 障害者フリーランス支援事業（神奈川県事業）の利用

年度	利用者数
R7	2人

2 地域の就労支援力底上げのためのネットワーク形成・セミナー等の実施

(1) 地域における関係機関とのネットワーク形成のための会議、交流会等の開催

名称	主催	実施日	場所	出席者	内 容
雇用移行 推進 連絡会議	当センター (ハローワーク 相模原と共 催)	5月19日ほか 計6回 (隔月第3月曜 日)	エコパー クさがみ はら他 (対面＋ オンライ ン)	38機関 延べ175人	地域における関係 機関とのネットワ ーク形成のための会 議、交流会として、 ハローワーク相模 原と連携し、情報 交換を行った

(2) 職員を講師とした、他の支援機関等へのノウハウ移転を図るための研修「就労援助セミナー」の開催

名称	主催	実施日	場所	出席者	内 容
働く力を見つけ る、育てる、つな げるために	当センター	1月23日	相模原市 民会館	26機関 37人 37人	BWAP2を活用し た就労スキルの可 視化と就労選択支 援

(3) 企業担当者等との交流会、相談会の開催

ア 企業交流会

名称	主催	実施日	場所	出席者	内 容
キャリアアップを 前提とした障害 者雇用とは？	当センター	12月5日	松が丘園	18人	BOOKOFF(ビー アシスト)の実践か ら考える

イ 就職面接会

日 時	実施場所	主催	参加者	内 容
9月5日	杜のホールはしもと	ハローワーク相模原	企業:17社 求職者:72人 (延べ104人)	求職者の就職の機会確保と企業理解促進を目的として実施
1月29日	けやき体育館	ハローワーク相模原	企業:17社 求職者:30人 (延べ26人)	求職者の就職の機会確保と企業理解促進を目的として実施

(4) 近隣の障害者就業・生活支援センター同士のノウハウ共有のための研修、交流会の開催

名 称	主催	実施日	場所	出席者	内 容
神奈川県障害者就業・生活支援センター連絡会議	川崎障害者就業・生活支援センター	7月11日 2月20日	富士通ユニオンビル	3人 4人	各センターの取組状況についての意見交換、ケース検討等

3 職場定着及び就労促進に係る効果的な支援メニューの実施

(1) 職場定着促進のための在職者交流活動としてグループワーク等を実施

実施日	参加者数	場所	内 容
6月22日	16人	けやき体育館	「今年は〇〇に挑戦したい」
8月24日	12人	けやき体育館	「インターネット被害未然防止講座」
9月12日	14人	けやき体育館	「インターネット被害未然防止講座」
12月14日	12人	けやき体育館	「今年も一年お疲れさま」
3月15日	9人	けやき体育館	「来年度の目標宣言」

(2) ピアサポート活動

実施日	参加者数	場所	内 容
8月24日	12人	けやき体育館	「インターネット被害未然防止講座」を受講後、経験談や不安なことについて話し合いを行った。
9月12日	14人	けやき体育館	「インターネット被害未然防止講座」を受講後、経験談や不安なことについて話し合いを行った。

4 移動相談の実施

(1) 市内北部地域の相談者向けに、緑障害者相談支援キーステーション内に相談窓口を併設

実施日	相談件数	場所	内 容
毎週水曜日ほか (計50回)	83件	緑区合同庁舎	緑区在住者向けの新規相談及び継続相談実施

(2) 津久井地区における就労相談会の実施等

ア 津久井地区における就労相談

実施日	相談件数	場所	内 容
5月7日ほか (計6回)	8件	津久井保健センター	緑区津久井地区在住者向けの新規相談及び継続相談実施

イ 地域連携のためのワンストップ相談

実施日	相談件数	場所	内 容
4月23日ほか (計7回)	8件	ハローワーク相模原	ハローワーク相模原、神奈川障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターの連携による相談

5 障害者就業支援アドバイザーの設置

障害者等及びその家族、障害者雇用を検討する企業等からの相談に対応し、必要に応じて、医学的（精神科）、法律的、その他専門相談の実施

実施日	実施場所	内 容
5月29日ほか (計4回)	松が丘園	精神科医から、個々の精神疾患に係る対応方法について担当職員が助言を受けた。

6 国等が主催する会議・研修等への参加

(1) 都道府県連絡会議出席

実施日	主催	場所	内 容
10月30日	神奈川労働局	神奈川労働局会議室	障害者就業・生活支援センター都道府県センター連絡会議

(2) ブロック別経験交流会議出席

実施日	主催	場所	内 容
11月21日	東京労働局	松が丘園 (オンライン)	障害者就業・生活支援センター南関東ブロック経験交流会議

(3) 就業支援担当者主任就業支援担当者研修及び就業支援担当者研修（初任者研修）参加

実施日	主催	場所	内 容
9月9日～12日	独）高齢・障害・求職者雇用支援機構	松が丘園 (オンライン)	障害者就業・生活支援センター就業支援担当者研修

5 障害者支援センター

(3) 地域障害者施設支援事業

○事業概要

障害福祉に関する幅広い研修を体系的に行うことにより、市内福祉従事者の支援技術の向上に寄与する。また、障害福祉サービス事業所等の人材確保・育成・定着、障害者の活動の場・福祉的就労の場でもある障害福祉サービス事業所等の工賃アップに向けた支援を地域と連携して行うなど、障害福祉サービス事業所・団体等の活動支援を行う。

ろう者の意思疎通及び情報の取得と利用のための手段である手話の普及及び手話通訳者の人材育成を行うとともに、難聴者、中途失聴者のコミュニケーションを円滑にし、社会参加促進を目的として要約筆記の普及及び要約筆記者の人材育成を行う。

○重点目標

福祉分野を超えた専門職との関わり合いを通じて、幅広い知識の獲得を目指す。また強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の今後の実施を踏まえ、講師・ファシリテーターの人材育成の場を確保し、障害者支援技術の更なる向上を目指す。

○実施結果

1 福祉研修センター事業

(1) 主催研修及び法定研修の実施

年度	回数	参加者数	出席率 (対定員)	内容
R7	75回	1,968人	102%	・障害福祉基礎研修 19回 ・支援技術向上研修 10回 ・入門コース(障害福祉職初心者を対象) 5回 ・その他研修 27回 ・障害当事者・家族・市民向け研修 14回
R6	78回	2,185人	95%	・障害福祉基礎研修 22回 ・支援技術向上研修 16回 ・入門コース(障害福祉職初心者を対象) 5回 ・その他研修 25回 ・障害当事者・家族・市民向け研修 10回

内容の詳細は巻末「令和7年度 福祉研修センター研修実施状況報告」参照

ア 強度行動障害を有する者（児）に対し適切な支援を行う職員の人材育成を目的とした強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を、市内障害福祉サービス事業所等との連携のもと実施した。

また、強度行動障害に係る研修講師、及びファシリテーター育成のため先駆的な取り組みを実施している他市と協働し、人材育成プロジェクトチームメンバーを対象に他市への視察・研修講師、ファシリテーター勉強会・振り返り会を実施した。また令和9年度以降の、強度行動障害支援者養成研修（実践研修）実施に向けて準備した。

年度	実施日				会場		
R7	11月13日(木)、11月14日(金)				けやき会館2階 職員研修所 大研修室		
	講義数	講師人数	ファシリテーター	サブファシリテーター	申込者数	受講者数	修了者数
	12回	11人	10人	0人	54人	48人	48人

R6	11月21日(木)、11月22日(金)				けやき会館2階 職員研修所 大研修室		
	講義数	講師人数	ファシリテーター	サブファシリテーター	申込者数	受講者数	修了者数
	12回	12人	10人	2人	60人	51人	51人

イ 福祉研修センター「入門コース」

福祉研修センター意見交換会の提案を採用し、障害福祉職初心者を対象にした「入門コース」を実施した。(年5回)

(2) 法人内連携企画

ア 特別支援学校進路先としての多機能型事業所の周知、また利用者の実践発表の場とすることで就労モチベーション向上を目的に、多機能型事業所と「卒業後のわたしたち」を協働企画し実施した。(年1回)

イ 相談支援事業所職員等の人材育成を目的に『支援技術向上研修(相談)』を、基幹相談支援センターと協働企画し実施した。(年5回)

(3) 法人外(障害福祉事業所、職能団体)等との共催企画

ア 相模湖・藤野地域の支援者の研修受講機会確保のため、相模原市障害福祉事業所協会と研修「寄り添いの力を育む～高齢化する知的障害者への支援と連携～」を共同企画し実施した。(年1回)

イ 市民に向け、メンタルヘルス及び作業療法士の役割について普及啓発を行うことを目的に、ココロとカラダ@SAGAMIHARA(作業療法士の職能団体)と研修「作業療法士と学ぶメンタルヘルス@さがみはら」を共同企画し実施した。(年1回)

ウ 障害のある人が、地域で当たり前のように生活できる社会を目指し、相模原市障害福祉事業所協会と研修「障害平等研修」を共同企画し実施した。(年1回)

(4) 研修受講修了証の発行

障害福祉サービス事業所等における人材の育成と研修参加へのモチベーション向上のため、該当する研修を修了した希望者に「研修受講修了証」を発行し、事業団ホームページにおいて研修受講修了証取得者情報を掲載した。また、修了証発行事業についての説明会を実施した。

年度	説明会参加者数	研修受講履歴カード作成数	修了証作成・交付人数
R7	1人	52件	9人
R6	4人	92件	15人

(5) 研修情報の集約とホームページによる発信

年度	年間件数(うち外部研修実施機関)	配布事業所数
R7	197(19)件	3,221か所
R6	235(15)件	5,342か所

(6) 研修に関する企画などの支援

ア 市内の障害福祉サービス事業所、団体等で開催する研修の企画支援を実施した。

単位:回

年度	回数	相談内容
R7	21	講師選定、研修企画、研修の周知方法等
R6	19	講師選定、研修企画、研修の周知方法等

イ 団体等の要望に応じ、事業団職員を研修講師、演習講師として派遣をした。

単位:回

年度	回数	主な派遣先
R7	68	神奈川県 ほか
R6	57	神奈川県 ほか

(7) 相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修事業

相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修事業を市から受託し実施した。
(年8回)

2 障害福祉サービス事業所等人材確保事業

障害福祉サービス事業所等の人材確保を支援するため、けやき体育館に設置した「就職情報コーナー」において求人情報の提供等と職員紹介コーナーの設置を行った。

単位:件

年度	就職情報コーナー掲示数	職員紹介コーナー掲示数
R7	6	3
R6	12	—

3 工賃アップ支援事業

(1) 受注作業の開拓・紹介、市内受注作業希望一覧表の作成

ア 受注作業の開拓・紹介

単位:件

年度	紹介数	主な内容
R7	1,448	普及啓発トートバック、チラシ・リーフレット印刷、がん検診等帳票梱包、農作物の袋詰め、看板、封入・発送業務、点字あて名シール、ネームプレート、共サポデザインチラシ、共サポネームストラップ
R6	1,119	除草作業、軽作業、ブルーベリージャム作り、DVD 検品、ヘルプマーク、物品、施設外就労、クリーニング後のたたみ、継手作業、のぼり旗等、名刺作成

イ 市内受注作業希望一覧表の作成

障害福祉サービスかながわの記載に加え、新たに研修定期便にて周知した。また松が丘園ホームページから登録を案内した。

周知回数	新規登録事業所数
1回	15件

(2) 就労系障害福祉サービス事業所への官公需における優先調達の支援

単位:件

受注数	契約数	主な内容
35	32	普及啓発グッズ、梱包発送業務、印刷類、看板、共サポデザインチラシ、R8 見積(除草等)、ネームプレート

(3) 生産活動に関する情報交換会の実施

工賃アップセミナーにおいて、工賃アップにつながった効果的だった点と改善点を検討し令和8年度のテーマについて検討した。(年1回)

単位:箇所

参加事業所数	場所
3	障害者支援センター松が丘園

(4) 障害福祉サービス事業所等の活動内容について販売会等を通じた普及啓発

ア 販売会の実施

実施数(うち新規数)	販売会売上
40(8)回	2,612,930 円

イ ワークショップ、イベントの実施

単位:回

ワークショップ実施数	イベント実施数
6	28

(5) 工賃アップセミナーの実施

単位:回

年度	セミナー実施数
R7	4
R6	6

(6) 農福連携

相模原市等と連携のもと「農福連携」の推進を図るため、農業と福祉事業所の連携における好事例を工賃アップセミナーで発表した。(年1回)

(7) 就労援助センター等と連携した企業開拓

ア 受注作業紹介に依頼があった企業の情報を就労援助センターと共有した。(適宜)

イ 短時間雇用等創出事業として、就労援助センターと共に企業向けセミナーを1回就労継続支援B型事業所を対象にセミナーを1回開催した。

(8) 障害者を職場につなぐセミナー

SDGsの取組みを意識した企業との連携を通じて、障害者を職場へつなぐセミナーを実施した。企業のセミナー講師からは、商品開発の仕方や作業の受注方法が提案された。(年1回)

4 障害福祉サービス事業所等の運営に関する支援

障害福祉サービス事業所等の運営支援のニーズ調査のため、地域活動支援センターⅢ型の運営委員会に出席した。(年1回)

5 団体への支援

(1) 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会(障作連)

ア 相模原市障害者地域作業所等連絡協議会の事務局を行った。

イ 店舗でのフェア開催、販売会等を行った。また、利用者の活動啓発や生きがいにつながる連携のイベントを行った。

ウ 施設コンフリクト等の社会的に隔たりがある、障害者支援施設等への理解を課題に団体の理念にもある「誰もが住みやすいまち」づくりを計画し、地域住民等と誰もが参加できるアートイベント（あおぞらアート）を開催した。（年４回）

単位：円

年度	ハンドメイドショップ バオバブ (あじさい会館)販売会込	福祉ショップあおば (ユーコープ並木あおば店)	麦の穂 (松が丘園)	合 計
R7	17,154,780	731,994	362,335	18,249,109
R6	16,645,003	891,040	329,345	17,865,388

エ 相模原市の情報発信および販路拡大に向けた取組みとして、ハンドメイドショップ「バオバブ」において、ふるさと納税返礼品の提供を実施した。

(2) 相模原福祉オンブズマンネットワーク（ネットさがみはら）

相模原福祉オンブズマンネットワークの事務局として、定期総会、会議、研修会を開催した。また当事者交流会を開催し、会員施設の当事者及びオンブズマンの交流を図った。

単位：回

年度	定期総会	運営委員会	オンブズマン会議 (南・北・南北合同)	協力員会議	協力員研修
R7	1	6	2 2	6	1

6 松が丘園で実施している事業の広報

松が丘園で実施している事業を広く周知するための松が丘園通信を発行した。（年３回）

7 手話通訳者等養成事業

(1) ～ (4) 手話講座及び要約筆記者養成講座

手話の普及及び手話通訳者の人材育成を行った。また、要約筆記者養成講座（手書きコースとパソコンコース）を実施した。

単位：人

年度	内容	受講者数	修了者数
R7	手話講座・入門基礎(午前) (火曜日 10:00～12:00・全47回)	18	17
	手話講座・入門基礎(夜間) (金曜日 19:00～21:00・全47回)	18	14
	手話講座・応用 (月曜日 10:00～12:00・全33回)	17	16
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00～12:00・全39回)	9	8
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託)	5	5
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (木曜日 10:00～12:00・全43回)	7	3
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (木曜日 10:00～12:00・全43回)	2	2
R6	手話講座・入門基礎	30	27

	(火曜日 10:00～12:00・全31回)		
	手話講座・中級 (金曜日 19:00～21:00・全36回)	33	29
	手話講座・応用 (月曜日 19:00～21:00・全31回)	17	16
	手話講座・フォローアップ (水曜日 10:00～12:00・全38回)	9	8
	手話上級講座・通訳者養成課程(県委託)	3	3
	要約筆記者養成講座(手書きコース) (木曜日 10:00～12:00・全43回)	8	5
	要約筆記者養成講座(パソコンコース) (木曜日 10:00～12:00・全43回)	4	4

(5) 要約筆記体験会

要約筆記や聴覚障害についての理解を広め、要約筆記者養成講座につなげることを目的に体験会を実施した。(年2回)

(6) 聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室 (再掲1 福祉研修センター事業)

主に聞こえにくい方と家族の方を対象に、耳の仕組みや聞こえを補うための方法について学ぶとともに、当事者が交流する機会となる講座を実施した。(年3回)

(7) 難聴者向けソーシャルスキルトレーニング (再掲1 福祉研修センター事業)

若年層を中心とした中途失聴・難聴者のコミュニケーションスキルを高めるための講座を実施した。(年5回)

5 障害者支援センター

(4) 基幹相談支援センター等事業

○事業の概要

相模原市における相談支援の中核的な役割を担う機関として、地域の相談支援従事者に対する助言等の支援者支援、総合相談・専門相談、権利擁護・虐待防止、相模原市障害者自立支援協議会の運営への関与を通じた障害のある人も住みやすい「地域づくり」などの業務を総合的に行う。

○重点目標

- 1 相談支援体制の強化を図るため、令和6年度に設置された中央障害者相談支援キーステーションの支援を行う。
- 2 障害福祉サービス事業所等における虐待防止の意識向上を図るため、各法人に設置されている虐待防止委員会のネットワーク構築などの取組みを実施する。

○実施結果

1 基幹相談支援センターの運営

(1) 地域の相談支援体制の強化の取組

ア 主任相談支援専門員の配置

相談支援専門員の養成に係る実習時の助言・指導、サービス等利用計画案を作成する現場での実地教育、相談支援体制の強化と地域づくりの推進役を担う職員を配置した。

イ 相談支援アシスト

相談支援従事者に対し、相談支援に関する相談に応じるとともに、支援方法の検討などの協働支援を行った。

年度	内 容	件 数
R7	相談支援事業所への支援(キーステーションへのケース検討参加等を含む)	172
R6	相談支援事業所への支援(キーステーションへのケース検討参加等を含む)	242

ウ 地域課題に対する取組

グループスーパービジョンの事例から抽出された課題に対し、相模原市障害者自立支援協議会の関与を通じて取り組んだ。同協議会にて検討された内容は、グループスーパービジョン参加者に共有する機会を確保し、PDCA サイクルを意識し取り組んだ。

エ 相談支援専門員向け研修

相談支援専門員の経験年数に応じた研修を実施した。

年度	内 容	実施日	参加者数
R7	相談支援専門員向け研修 「ソーシャルワークアプローチ研修」(*)	12月1日	20
	スーパーバイズ研修 「グループスーパービジョンを学ぼう！ ～ファシリテーション技術の習得～」	2月27日	6

	法定研修受講者向けフォローアップ研修 ①相談支援従事者初任者研修受講者向け 「インターバル実習対応」 ②相談支援従事者現任研修受講者向け 「相模原市の相談支援体制と障害者自立支援協議会」(*)	①11月28日 12月11日 ② 9月4日	①13 16 ②41
R6	スーパーバイズ研修 「キーステーションと市社協 CSW によるインフォーマルな社会資源を活用した支援の実践報告会」(*)	2月14日	44
	相談支援専門員向け研修 「ソーシャルワークアプローチ研修」(*)	12月10日	24
	法定研修受講者向けフォローアップ研修 ①相談支援従事者初任者研修受講者向け 「インターバル実習対応」 ②相談支援従事者現任研修受講者向け 「相模原市の相談支援体制と障害者自立支援協議会」(*)	①12月3日 12月17日 ② 8月23日	①13 11 ②30

(*) 福祉研修センター研修一覧表再掲

オ 相談支援従事者法定研修への運営協力

相談支援従事者を育成するため、神奈川県が実施する相談支援従事者初任者研修及び相談支援従事者現任研修へ演習指導者を派遣した。

年度	内 容	コース数	派遣人数
R7	相談支援従事者初任者研修 演習指導	1コース	1
	相談支援従事者現任研修 演習指導	2コース	2
	講師	3コース	9
R6	相談支援従事者初任者研修 演習指導	2コース	3
	相談支援従事者現任研修 演習指導	2コース	5

カ 相談支援事業所等支援の取組

相談支援事業所等に向けて、障害福祉サービス事業所等の空き情報や詳細情報、業務に役立つ資料や活用できる地域の情報等のホームページへの掲載、オンライン等を交えた情報交換などにより相談支援業務のサポートを実施した。

年度	内 容	件 数
R7	事業所等の空き情報の更新	249
R6	事業所等の空き情報の更新	136

キ 相談支援事業所の連携強化に向けた取組

相談支援事業所が相互に情報交換を行い、連携を強化する取組みを実施した。

年度	内 容	回 数
R7	相談支援事業所の連携強化に向けた取組み	3
R6	相談支援事業所の連携強化に向けた取組み	1

(2) 総合相談・専門相談

地域の相談支援の拠点として障害の種別に関わらず各種ニーズに対応できる総合的かつ専門的な相談支援を実施した。また、法律的な視点が必要な相談などは弁護士等と連携した相談支援を行った。

年度	内 容	人 数
R7	新規相談者数	83
	弁護士相談	2
R6	新規相談者数	98
	弁護士相談	8

(3) 虐待防止・権利擁護

相模原市の障害者虐待防止体制における普及啓発・予防の役割を担い、相模原市障害者自立支援協議会権利擁護・虐待防止検討部会と連携しながら研修を実施した。また、各事業所に設置されている虐待防止委員会のネットワーク構築に向けて情報収集を行った。

年度	内 容	実施日	参加者数
R7	障害者福祉施設従事者等向け研修 ①改めて 意思決定支援について考えよう ②こどもと家族の支援～児童相談所の現場から～ ③気づきから始まる支援の質の向上～毎日の支援のヒント～ ④虐待から遠ざかる支援	①10月31日 ②11月5日 ③11月17日 ④12月2日	①28 ②36 ③30 ④40
	使用者向け研修 「役職者へのサポートを通じて障害のある社員の権利擁護～三菱 UFJ ビジネスパートナーの取り組みから～」	12月8日	17
	地域住民向け研修 「作業療法士と学ぶメンタルヘルス@さがみはら」	10月5日	56
	当事者向け研修 「難聴 SST」	①6月20日 ②8月22日 ③10月17日 ④12月19日 ⑤2月20日	①4 ②6 ③3 ④3 ⑤5
R6	障害者福祉施設従事者等向け研修 ①障害者の権利擁護について考える ②アンガーマネジメントを学ぶ ③身体拘束について ④事例を通して学ぶ ～虐待防止について考えよう～	①10月25日 ②11月5日 ③11月18日 ④12月19日	①24 ②27 ③28 ④37
	管理者向け研修 「虐待を発生させない環境づくり ～実践から学ぶ虐待防止～」	1月16日	25
	養護者向け研修	2月3日	39

	「未来に向けて今できること」		
	当事者対象講座 「きっと見つかる。新しい繋がり♪ ～with e-sports～」	12月15日	5

福祉研修センター研修一覧表再掲

(4) 地域移行

病院等から地域へ移行し、障害のある人が自ら選んだ住まいで安心して自分らしい暮らしを実現できるよう地域移行に係る研修を実施した。

年度	内 容	実施日	参加者数
R7	地域移行支援を考える～病院から地域へ事例から学ぶ支援の視点	2月20日	23
R6	医療従事者と福祉従事者による合同企画 地域移行支援の研修会	2月6日	28

2 相模原市障害者自立支援協議会

相談支援体制整備を図るとともに、権利擁護・虐待防止、人材育成、地域課題解決に向けた具体的な検討を実施するために、相模原市障害者自立支援協議会を市と協働して運営した。

年度	内 容	回 数
R7	全体会議	2
	運営会議	3(9)
	権利擁護・虐待防止検討部会	3(2)
	人材育成部会	4(6)
	緑区課題検討会	3(10)
	中央区課題検討会	4
	南区課題検討会	3(1)
R6	全体会議	4
	運営会議	3(13)
	権利擁護・虐待防止検討部会	3(3)
	人材育成部会	3(3)
	緑区課題検討会	5(9)
	中央区課題検討会	3(9)
	南区課題検討会	4(2)

* () 内ワーキング開催数

3 社会生活力アップ

障害のある人が様々な体験などを参考に意思決定し主体的に生活できる力を高めるとともに、当事者のエンパワメントの促進、障害のある人が希望する生活につなげられるよう各種講座を実施した。

年度	内 容	実施日	参加者数
R7	ライフステージに応じた講座 「家族の安心につながる～成年後見制度と相続～」	3月3日	36
	当事者同士の交流を促進する講座(*) 「難聴 SST」	①6月20日 ②8月22日 ③10月17日 ④12月19日 ⑤2月20日	①4 ②6 ③3 ④3 ⑤5
	体験型の講座 「ともいきメタバース講習会」	10月31日	3
	ピアカウンセリング	障害別に月1回	0
R6	ライフステージに応じた講座(*) 「未来に向けて今できること」	2月3日	39
	当事者同士の交流を促進する講座(*) 「きっと見つかる。新しい繋がり♪ ～with e-sports～」	12月15日	5
	体験型の講座 「はじめの一步～なりたい自分に近づくために」	3月30日	4
	ピアカウンセリング	障害別に月1回	0

福祉研修センター研修一覧表再掲

*:1(3)虐待防止・権利擁護再掲

4 その他

(1) ソーシャルワーカーの養成支援として、大学の社会福祉士相談援助実習生を受け入れた。

年度	学校名	日にち	日数	人数
R7	大妻女子大学	8月1日～9月4日	24	1
	田園調布学園大学	① 8月6日～9月9日	① 24	① 1
		② 8月20日～9月26日	② 24	② 1
	法政大学	① 9月10日～10月20日	① 24	① 1
		② 2月16日～2月25日	② 8	② 1
	桜美林大学	2月2日～2月12日	8	1
	相模女子大学	2月3日～2月13日	8	1

(2) 関係機関等主催の会議に出席した。

年度	内 容	参加回数
R7	権利擁護支援のための地域連携ネットワーク協議会	3
	高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会(講演会含む)	3
	基幹相談支援センター連絡会	2
	医療的ケア児等支援地域協議会	2
	中央区精神障害者地域生活支援ネットワーク会議	1
	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進連絡会議	1
	地域移行支援意見交換会	1
	高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会	1
	重層的支援会議	1
	関東地区知的障害関係施設種別代表者会議	1

	神奈川県障害福祉職員実践報告会 相談支援部会	1
--	------------------------	---

6 障害者一時ケア事業

○事業の概要

障害児・者の家族に対し、通院や冠婚葬祭のため家庭内での介護が一時的に困難な場合や、家族が日ごろの介護疲れを解消し休息とゆとり（レスパイト）を得るために、障害児・者の一時的介護を実施する。

○重点目標

- 1 障害児・者が地域での生活を継続するために必要な情報を家族へ提供するとともに、関係機関との連絡調整等を行う。
- 2 医療的ケアが必要な方を含めた他の事業所の利用が困難な利用者を受け入れ、関係機関と連携して家族のニーズに応える。

○実施結果

1 一時ケア事業

(1) 実施日時

年末年始と休館日を除く午前8時30分から午後10時まで開所。

医療的ケアが必要な方：午前8時30分から午後6時まで開所。

(2) 予約受付時間

年末年始と休館日を除く午前8時30分から午後10時まで予約を受け付けた。

電話対応：午前8時30分から午後5時まで

オンライン：午前8時30分から午後10時まで

(3) 対象者

市内在住の障害児・者

(医療的ケアが必要な対象者は、事業団医療的ケア委員会において承認された者とした。)

(4) 内容

利用者の状況に合わせた個別ケアを行った。

ア 登録者の状況

単位：人

年度	登録者数	うち新規登録者数
R7	302	9
R6	297	4

(ア) 障害者別の登録者数

単位：人

年度	身体障害	知的障害	自閉症	重複障害	その他※	合計
R7	6	65	117	114	0	302
R6	6	62	113	116	0	297

※その他は精神障害等

(イ) 医療的ケアが必要な方の利用者数

単位：人

年度	利用者数
R7	23
R6	23

イ ケアの質の向上を目的とした面談・訪問・会議への参加などの回数

年度	回数
R7	143
R6	171

ウ 利用者の状況

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R7	355	952	2.7 人	6 時間 16 分
R6	355	933	2.6 人	6 時間 23 分

(ア) 休日の状況(内数)

年度	開所日数	延べ利用者数	平均利用者/日	平均利用時間/人
R7	113	770	6.8 人	6 時間52分
R6	112	765	6.8 人	6 時間59分

(イ) 医療的ケアの必要な利用者の利用状況

年度	利用実人数	延べ利用者数	医療的ケア実施回数
R7	7	23	72
R6	6	23	116

(ウ) 複数の職員で対応する場面のある利用者

年度	対象者数	延べ利用者数
R7	18	275
R6	25	287

2 サービスの質の向上

- (1) 障害児・者の地域での生活の支援を目的に、相談支援事業所や支援学校・通所先事業所等と連携し、利用者の障害特性や状況の把握、支援会議への参加、事例のフィードバックなどにより、より良い支援方法の検討を行った。
- (2) 医療的ケアが必要な方の受け入れにあたり、利用者が安全に安心して過ごせるよう医師や関係機関と連携を図った。

3 人材の確保・育成

スタッフの確保のため、様々な媒体を活用して募集した。また、スタッフの育成・スキルアップを目的に、利用者支援の情報提供、職員研修や情報紙「めざせ！ケアの達人」等による虐待防止・人権尊重に向けた啓発を行った。

(1) 職員研修の実施

年度	回数	延べ参加者数	内 容
R7	3	180	○「権利擁護・虐待防止」をテーマにしたスタッフ研修を行い、60人が参加した。 ○ケアの質の向上、情報共有等を目的とした「スタッフ懇談会」を計3回(延べ60人参加)行った。 ○コーディネーターで共有した情報をスタッフへ伝達する「ケア会議」を計14回(延べ60人参加)行った。
R6	3	191	○「権利擁護・虐待防止」をテーマにしたスタッフ研修を行い、65人が参加した。 ○ケアの質の向上、情報共有等を目的とした「スタッフ懇談会」を計3回(延べ65人参加)行った。 ○コーディネーターが共有した情報をスタッフへ伝達する「ケア会議」を計12回(延べ61人参加)行った。

(2) 非常勤職員向け情報誌の発行＞

非常勤職員向け情報誌 『ケアの達人』を配布した。

年度	配布数
R7	46
R6	52

(3) 利用者満足度調査を実施し、得た利用者の家族の声をスタッフ研修にて職員にフィードバックし、支援やモチベーションの向上を図った。

利用者満足度調査の状況

年度(実施期間)	回答数
R7(11月1日～12月26日)	65
R6(11月1日～12月27日)	39

4 関係機関との連携

(1) 障害者一時ケア事業所連絡会の実施

ネットワークの構築と市のレスパイト事業の充実、事業実施における課題の抽出や対策などを目的に情報交換や事例検討等を行った。

実施月	内 容	構成団体
11月	・各事業所の事業実施状況と課題等 ・利用者対応に関する情報交換	相模原市高齢・障害者支援課 松が丘園 一時ケア事業
1月	・各事業所の事業実施状況と課題等 ・市外の一時ケアに関する情報交換等	ふれあいデイホーム もみの木ホーム

5 事業のあり方検討会の実施

社会状況の変化を踏まえた事業のあり方について、相模原市等関係機関と連携し、検討を行うための事前打ち合わせを行った。

実施月：7月、10月、12月

7 発達障害支援センター就労支援事業

○事業の概要

発達障害者及びその家族並びに企業に対し、就労及び雇用に関する相談、指導、情報提供を行うことにより、発達障害者の就労支援及び雇用促進を図り、多様な働き方のニーズに応えていく。

なお、「障害者地域就労援助センター事業」「障害者就業・生活支援センター事業」との一体的な運営を行う。

○重点目標

発達障害者に就労支援に関わる情報提供を行うとともに、労働、教育、福祉関係機関及び企業との連携を強化する。

○実施結果

1 就労相談

就労に関する相談、指導及び情報提供を行った。総合的なアセスメントを行い、適切な支援を実施するとともに、発達障害支援センターの支援方針会議等において相談に関する情報や課題を共有し必要に応じて支援方法の見直し等を行った。

(1) 相談件数

単位:件

年度	相談件数
R7	1,650
R6	1,803

(2) ケース検討会・発達障害支援センター支援方針会議等への出席

単位:回

年度	出席回数
R7	51
R6	50

2 就労援助

(1) 企業訪問等件数

単位:件

年度	訪問件数
R7	142
R6	154

(2) 専門スキルを向上させるための各種研修会に参加した。

年度	参加回数
R7	5回
R6	9回

3 啓発活動

発達障害者自らが必要な支援を利用可能になることを目的に、課題等の理解促進を図った。「発達障害者及びその家族を対象とした就労準備セミナー」を実施した。

ハローワーク相模原との共催にて3回実施。就労支援機関等合同相談会では16か所の就労支援機関等がブースを設置した。

実施日	場所	内容	参加人数
11月28日	相模原市立産業会館	「発達に課題のある児童・生徒さんの職業自立のための保護者セミナー&相談会」 ＊ハローワーク相模原主催	70人
12月28日	ウェルネス相模原 7階視聴覚室	「仕事×わたし～私らしく働くということ～」	42人
2月13日	ウェルネス相模原 7階視聴覚室	「仕事×わたし～専門家にきいてみよう～」 (就労支援機関合同相談会)」	16人

4 その他

発達障害者や事業主及び企業を対象に情報提供を行い、就労への意欲向上、自己理解促進のための職場体験を実施した。

(1) グループワーク(JST、職場体験実習)の実施

発達障害のある方に職業的スキルの獲得を目的に「職場対人技能トレーニング(JST)」「職場体験実習」をグループワークで実施した。

ア 職場対人技能トレーニング(JST)の実施

年度	実施回数	参加人数(延べ人数)
R7	2回	6人
R6	2回	5人

イ 職場体験実習の実施・職場実習に関する支援

単位:件

年度	職場体験実習
R7	2
R6	2

(2) 個別の事業主及び企業を対象とした体験型研修の実施

実施日	場所	参加人数
2月20日	株式会社日野ハーモニー	3人

(3) ワークサンプル幕張版、TTAP等のアセスメントツールを用いた評価の実施

ア ワークサンプル幕張版(作業を通して職業適性・就労能力・特性把握を行うための評価検査略称:MWS)を活用した職業評価を実施した。

年度 実施人数

R7 10人

R6 8人

イ TTAP(自閉症スペクトラムの移行アセスメントプロフィール)を実施した。

年度	実施人数
R7	5人
R6	2人

ウ 職業レディネステスト(本人の興味・自信からパーソナリティを探る、自己理解のための検査)を実施した。

年度	実施人数
R7	2人
R6	2人

5 関係機関等との連携

相模原市発達障害者地域支援協議会成人期部会及びその他関係機関が主催する会議等に参加した。

内 容	参加回数
発達障害者支援地域協議会 本会議	2回
発達障害者支援地域協議会 合同部会	1回
雇用移行推進連絡会議	6回

8 障害者相談支援キーステーション事業

○事業の概要

相模原市における重層的かつ総合的な相談支援体制の中で、中圏域をカバーする相談支援の場として、障害者相談支援キーステーションの運営を行う。運営は市内に相談支援事業所を有する法人と協力し、所属法人が異なる相談支援専門員との協働による相談支援業務を行う。

○重点目標

相談支援から見えてきた課題や相談支援専門員との意見交換で見えてきた課題について、基幹相談支援センターや相談支援事業所等と協働して取り組むことで、相談支援体制の強化と質の向上を目指す。

○実施結果

1 相談支援

ワンストップ総合相談窓口として、障害種別に関わらず各種ニーズに対して、アウトリーチ_{*1}も含めた相談支援を行った。また、成年後見制度の一般的な相談窓口として必要な情報提供を行うとともに関係機関につなげる役割を担った。

単位：人・件

年度	内 容	緑	中央	南
R7	新規相談者数	63	76	45
	総相談者数	1,554	1,493	1,452
	支援方法件数	6,028	6,761	5,583
R6	新規相談者数	42	180	50
	総相談者数	1,508	890	1,503
	支援方法件数	6,797	5,498	6,254

2 相談支援の質の向上

困難事例を含む基本相談に対応し、官民協働、民民連携によるチーム支援を通して相談支援のスキルアップを図った。

(1) 相談支援の標準化

標準的な相談支援の実現に向け、相談支援専門員合議でのインテーク体制、官民協働でのケース会議等の取組みを行った。

単位：回

年度	内 容	緑	中央	南
R7	官民協働でのケース検討	32	52	42
	相談支援事業所への支援	21	60	20
R6	官民協働でのケース検討	25	49	47
	相談支援事業所への支援	34	48	23

(2) 相談支援技術向上研修

相談支援技術の向上を図るため、面接トレーニングや事例検討を行った。また、地域のリーダー的な役割を目指し、相談支援専門員向け研修の補助的な役割を担った。

単位：回

年度	内 容	緑	中央	南
----	-----	---	----	---

R7	面接トレーニング	2	2	1
R6	面接トレーニング	1	2	1

相談支援専門員向け研修補助

年度	内 容	コース数	派遣人数
R7	相談支援従事者初任者研修 演習指導	2コース	4 名
	相談支援従事者現任研修 演習指導	2コース	1 名

(3) 専門相談

法律的な視点が必要な相談等に対応するため、弁護士等と連携した専門相談等を行った。

単位：件

年度	内 容	緑	中央	南
R7	弁護士相談	0	2	3
R6	弁護士相談	0	1	4

3 ソーシャルワークの展開

(1) グループスーパービジョン

福祉の枠組みだけではなく新たな支援方法や地域課題の抽出等を目指しオンラインも活用したグループスーパービジョンを行った。

単位：回

年度	内 容	緑	中央	南
R7	グループスーパービジョン	12	12	12
R6	グループスーパービジョン	12	12	12

(2) チーム支援

障害分野の関係機関だけでなく、高齢者の支援機関、社会福祉協議会、教育機関など多職種連携によるチーム支援を行うとともに、関係構築の一環として会議等に参加した。

内 容	参加回数	地区
重症心身障害児者ネットワーク会議	4	全
医療的ケア児等地域支援協議会	2	全
県・政令市医療的ケア児等コーディネーター連絡会議	2	全
福祉カーニバルin橋本実行委員会	8	緑
緑区地域精神障がい者支援ネットワーク会議	2	緑
緑区社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーグループスーパービジョン	2	緑
相模湖地域包括支援センター主催 湖カフェ	1	緑
緑区支援会議	1	緑
相模原市医療的ケア児等の支援に係る実務者部会	2	緑・中央
中央区社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーグループスーパービジョン	9	中央
地域包括支援センター・居宅介護支援事業所勉強会 (上溝、田名、星が丘)	3	中央
精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進連絡会	2	中央
コミュニティソーシャルワーカー交流会	2	中央
中央区地域精神障がい者支援ネットワーク会議	1	中央
地域活動支援センターカミング交流会	1	中央

精神保健福祉家族会みどり会	1	中央
中央区支援会議(重層的支援体制整備事業)	1	中央
清新地域包括支援センター地域ケア会議(地域づくり部会)	1	中央
精神地域包括支援センター認知症カフェ	1	中央
包括的支援体制に向けた中央区担当者打合せ	1	中央
重層的支援会議(全体会議)(重層的支援体制整備事業)	1	中央・南
南区社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーグループスーパービジョン	11	南
東林地区地域ケア会議地域づくり部会	3	南
南区支援会議(重層的支援体制整備事業)	2	南
精神障害者支援機関ネットワーク会議	2	南
精神障害者地域生活支援ネットワーク会議	2	南
精神保健事例検討会	1	南
コンパス座ケアマネージャー・包括交流会	1	南
大沼地区個別地域ケア会議	1	南

4 医療的ケア児等に対する支援

(1) 医療的ケア児等コーディネーターの配置

障害福祉・医療・保健・保育・教育等の関係機関にまたがる支援の利用を調整し、総合的かつ包括的な支援の提供につなげる医療的ケア児等コーディネーターを配置し、医療的ケア児とその家族が安心して豊かな生活をおくることができるよう支援した。

単位：人・件

年度	内 容	緑	中央	南
R7	新規相談者数	2	5	4
	総相談者数	47	99	87
	支援方法件数	102	265	244
R6	新規相談者数	2	4	8
	総相談者数	45	70	68
	支援方法件数	230	286	226

(2) かながわ医療的ケア児支援センター

かながわ医療的ケア児支援センターの相模原市事務局として、広域的な支援体制の構築及び連絡調整や神奈川県内の医療的ケア児等コーディネーターへの支援を行った。

年度	内 容	回数	派遣人数
R7	県・政令市医療的ケア児等コーディネーター連絡会議(*)	2	5
	医療的ケア児等コーディネーター養成研修講師派遣	2	1
	医療的ケア児等コーディネーター養成研修インターバル対応	5	9
R6	県・政令市医療的ケア児等コーディネーター連絡会議(*)	2	5
	医療的ケア児等コーディネーター養成研修講師派遣	2	1
	医療的ケア児等コーディネーター養成研修インターバル対応	5	11
	医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	1	2

(*) 3 (2) 再掲

* 1 アウトリーチ…支援が必要な人に、必要なサービスや情報を届けるため、さまざまな形で積極的に出向いて働きかけること

9 けやき体育館

(1) けやき体育館管理・運営事業

○事業の概要

体育室、機能訓練室、教養室、和室、教室の各室を、障害者団体の優先利用を基本原則として貸出を行う。貸出に当たっては、障害のある人が自主的かつ積極的にスポーツやレクリエーション活動が楽しめるよう支援する。

また、けやきカフェを運営することにより、施設利用者の利便性向上を図るとともに、就労を目指す障害のある人の体験実習の場として社会参加を支援する。

○重点目標

- 1 非常事態における利用者や職員の安全確保のため、体育館の特性や最新のリスクを考慮した緊急対応マニュアルの見直し及び訓練を実施する。
- 2 SNSやホームページ等の活用による施設や事業のPRにより、けやき体育館の利用者増を図る。

○実施結果

- 1 利用する団体等が適切に施設の利用が出来るよう、施設の維持補修・備品管理を行った。
(1) 施設・設備の修繕を適切に行い、利用者の安全確保及び施設の長寿命化を図った。

修繕内容	委託業者	作業日
2階教室コンセント配線修繕	㈱宝月堂	4/11
2階給湯室電気給湯器修繕	㈱日本イトミック	4/28
冷暖房機冷媒ポンプ発停スイッチ交換修繕	三菱重工冷熱㈱(けやき会館按分)	6/5
屋上逆上弁修繕	㈱河本総合防災(けやき会館按分)	8/4
体育室器具庫ガラス仮設修繕	小林住設㈱	9/24
非常電源蓄電池交換修繕	㈱河本総合防災(けやき会館按分)	10/22
燃料フレキ配管修繕	㈱河本総合防災(けやき会館按分)	10/22
冷却水メーターオーバーホール修繕	㈱河本総合防災(けやき会館按分)	10/22
体育室器具庫ガラス修繕	小林住設㈱	10/31
2階教室排水詰まり修繕	㈱野崎工業所	11/28
ガステーブル(バーナー)修繕	タニコー㈱	12/12
物品(ポッチャボール)修繕	㈱アポワテック	3/30
外壁灯増設修繕	わきざき電腦サービス㈱	3/31

- (2) 施設の機能を維持するために、適正な業務委託と保守点検を行った。

業務委託項目(委託業者)	内容	実施日
総合管理業務(相模トライアム㈱)	毎日の日常清掃及び定期清掃(床年2回、ガラス年3回、網戸年1回、年末特別清掃)、環境衛生管理業務(年6回)、機械操作管理業務(休館日を除く全日)	年末年始休館日を除く全日
機械警備(相模警備保障㈱)	火災、盗難及びガス漏れ事故防止、不良行為の拡大防止のため	全日

	(開館日)22:30～翌日8:30 (休館日)8:30～翌日 8:30	
廃棄物収集運搬(㈱清和サービス)	一般廃棄物収集運搬業務	毎週月・木
消防用設備保守点検(㈱河本総合防災)	消火器具、自動火災報知設備等の保守点検(年2回)※業者による法定点検の他、自主点検を行った。	法定点検 8/20、2/9 自主点検
体育器具保守点検(セノー㈱)	体育器具保守点検(年2回)	8/8、2/6
自動ドア保守点検業務(㈱神奈川ナブコ)	自動ドアの保守点検(年4回)	5/28、8/27、 11/26、2/25
樹木剪定業務(㈱井上農園)	敷地内樹木剪定(低木年1回、中高木年1回)	低木 5/27 中高木 10/1、10/2
建築設備定期点検(さがみビルメンテナンス協同組合)	法定点検による建築設備点検	11/12、12/28
防火設備定期点検(㈱河本総合防災)	法定点検による防火設備点検(防火扉)	2/9
陶芸窯保守点検(㈱柳北信陶園)	教室陶芸窯保守点検	11/7
自家用電気工作物保守点検(原田電気管理事務所)※	受電設備、配電設備等の保守点検(月次点検年6回 年次点検年1回)	年次点検3/1
冷暖房機器保守点検(三菱重工冷暖㈱)※	冷暖房設備の保守点検(年4回)	5/11、9/16 11/8、1/10
中央監視盤保守点検(三菱電機プラントエンジニアリング㈱)※	中央監視設備の全機器の保守点検(年2回)	9/8、9 3/9
ポンプ送風機保守点検(㈱野崎工業所)※	ポンプ送風機の保守点検(年1回)	11/27
空調システム保守点検(日本電技㈱)※	ファンコイル等の点検	7/23、24 12/17、18
非常電源保守点検(㈱河本総合防災)※	非常用電源の保守(年1回)	2/10
昇降機保守点検(三菱電機ビルソリューションズ㈱)※	昇降機保守点検(月1回)	毎月実施
屋上冷却塔点検・清掃業務※	屋上冷却塔の保守点検及び清掃(月1回)	3/10

※印は、公益財団法人相模原市まち・みどり公社と共同で管理する施設・設備等

- 2 利用申請の受付、承認等は職員2名以上を配置、2交代勤務として引継ぎ業務は全職員で行った。施設貸出に当たっては、利用者が快適に活動できるよう、準備や点検等を行った。また、体育室の空調設備設置工事の影響による体育室利用停止については、利用団体等への適切な案内等を行い、工事期間中は他室の利用団体や来館者の安全を考慮し、円滑に工事が行われるよう対応をした。(体育室の空調設備設置工事における利用停止期間11/17～2/20)

(1) 利用回数・利用率

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R7	利用回数	642.5	588	747	381	702	3060.5
	(うち減免利用)	(469.5)	(348)	(527)	(245)	(553)	(2142.5)

	利用率	86.1%	61.7%	70.3%	35.7%	66.1%	62.6%
R6	利用回数	397	613	704	342	659	2,715
	(うち減免利用)	(304.5)	(347)	(517)	(186)	(460)	(1814.5)
	利用率	87.4%	63.2%	66.3%	32.1%	62.0%	58.8%

(2) 利用延べ人数

		体育室	機能訓練室	教養室	和室	教室	合計
R7	利用人数(延べ)	16,208	5,924	8,624	3,565	9,235	43,556
	(うち障害者)	(6,102)	(2,144)	(3,529)	(1,399)	(4,306)	(17,480)
R6	利用人数(延べ)	9,976	5,833	8,334	3,134	9,354	36,631
	(うち障害者)	(3,629)	(2,135)	(3,182)	(688)	(4,452)	(14,086)

(3) けやき会館との合同防災訓練を実施した。また、不審者対応研修を実施した。

ア 第1回総合防災訓練

①実施日 9月4日(木)

②訓練内容 大規模地震発生及び地震発生に伴う火災想定。避難誘導、伝達・通報、及び消火器等操作訓練。

イ 第2回総合防災訓練

①実施日 2月16日(月)

②訓練内容 水消火器を使用した消火訓練及び救急救命法

ウ 「施設等における不審者対策」講習会

①実施日 9月4日(木)

②内容 相模原市の防犯交通安全指導員による不審者への対策、犯罪にあわないための知識や施設における防犯活動についての講習会

3 利用予約のない時間帯を活用した日程設定により個人利用日を増やし、利用者増を図った。

	体育室					機能訓練室					合計
内容	回数	大人		小人		回数	大人		小人		
		障害者	その他	障害者	その他		障害者	その他	障害者	その他	
バドミントン	44	2	37	0	20	—	—	—	—	—	59

4 SNS、ホームページを活用した施設の案内、事業のPRを行った。

公式X投稿数 541件

5 けやきカフェの運営

(1) 施設利用者の利便性向上のため、けやきカフェを運営した。松が丘園で作られたパンを使用したメニューを提供し、パン、クッキーの販売を行った。

ア 営業日：月曜日から金曜日まで。障害者余暇活動支援事業イベント開催時の土日祝

臨時営業。

イ 営業時間：午前 11 時 30 分から午後 2 時 30 分まで

ウ 売上等

年度	営業日数	売 上	一日平均売上
R7	245	3,923,750円	16,015 円
R6	247	4,072,820 円	16,489 円

- (2) 地域における公益的な取組として地域の方がほっとできるような居場所や交流の場「みんなのけやきカフェ」を実施し、同日開催イベント「けやき☆ひろば」の案内を行った。

44	参加者数			内容
	こども	大人	合計	
7 月 26 日	2	32	34	カレーの提供、参加者同士の交流の場
2 月 21 日	6	44	50	カレーの提供、参加者同士の交流の場

6 障害者支援センター松が丘園との連携

(1) インターンシップ（ビルメンテナンス）の実施

不特定多数の人が利用するけやき体育館の環境を活かし、障害者支援センター多機能型事業所（自立訓練事業）利用者によるインターンシップを実施した。

年度	日数	人数
R7	4	2
R6	6	3

(2) 就労体験実習の実施

一般就労をめざす地域就労援助センターの登録者に、けやきカフェの開店前準備・接客業務の他、新たに、施設貸出業務、施設点検、事務作業を加え実習内容の充実を図った。

年度	けやきカフェ		施設管理・貸出業務	
	日数	人数	日数	人数
R7	10	2	8	3
R6	22	5	16	4

- (3) 就労相談窓口「障害者地域就労援助・けやき相談センター」の運営に協力した。

(4) 求人情報の提供

地域障害者施設支援事業と連携して、市内障害福祉サービス事業所等の「就職情報コーナー」を運営した。

9 けやき体育館

(2) 障害者余暇活動支援事業

○事業の概要

障害のある人がスポーツや教養文化活動により、地域で楽しく豊かな生活を送れるよう、各種講座の実施、パラスポーツ大会の支援やスポーツ指導体制の充実を図る。

また、障害についての理解促進のために地域交流イベント等を行い、共にささえあい生きる社会の実現を推進し、障害の有無に関わらず交流する事業を実施する。

○重点目標

- 1 障害にかかわらず、一人ひとりの多様なニーズに応じた余暇支援を推進できるよう、スポーツや文化活動の余暇に関する相談に対応する。
- 2 地域、学校へのパラスポーツ出前講座の実施やSDGsパートナー企業等との連携したイベントの開催により、地域交流の充実及び障害についての理解促進を図る。

○実施結果

1 パラスポーツの普及・振興事業

(1) パラスポーツの体験会やパラスポーツ大会（ボッチャ）の開催

ア パラスポーツ体験会の実施

単位：人

内 容	実施日	参加者
パラスポーツ体験会	5月31日	延べ人数 649
	2月23日	29
車いすバスケットボールをやってみよう♪	6月21日	9
デフリンピックを応援しよう！	9月23日	延べ人数 95
ボッチャ練習会(大会前の練習会)	1月31日	8
	2月11日	36
	2月27日	14
	3月8日	41
	3月14日	42

イ パラスポーツ大会の実施

パラリンピック競技大会の正式種目であるボッチャ競技の大会を開催した。開催に当たっては、障害の有無にかかわらず、誰もが参加できることとし、地域の方と一緒に楽しく交流できる場とした。

内 容	実施日	参加チーム数
第6回ボッチャ大会～けやき杯～	3月21日(土)	20

(2) パラスポーツの定着に向けた事業

ア 事前の予約なしで気軽に参加できるきままシリーズの定期開催

障害のある人を対象に、事前の予約なしで気軽に参加できるスポーツイベントを実施した。一部は障害の理解促進、パラスポーツの普及啓発を図るため、障害のあるなしに関わらず、誰もが参加できる交流事業として実施した。実施に当たっては、ボランティアの受け入れや、けやき体育館利用団体や地域活動団体に協力を依頼する等、地域との連携を図った。

内 容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い他	合計
きまみにカラーリング&ボッチャ	9	137	95	89	321
きまみにボッチャ	3	12	11	8	31
きまみにスポーツ(ボッチャ・フライングディスク・トランポリンなど)	9	130	34	54	218
合計	21	279	140	151	570

イ 相模原市のパラスポーツ推進事業への協力

(ア) さがみはら“ゆめ”プロジェクト実行委員会

内 容	実施日
第7回さがみはら“ゆめ”プロジェクト ～みんなで一緒にパラスポーツ体験！～ (ボッチャ体験ブース対応)	11月 22 日(土)
第8回さがみはら“ゆめ”プロジェクト ～みんなで一緒にパラテニス体験！～ (ボッチャ体験ブース対応)	2月 15 日(日)

(イ) 共にささえあい生きる社会パラスポーツ普及啓発実行委員会

内 容	実施日
Ario Hashimoto Cup2025 高校生 3×3大会 (車いすバスケ体験対応)	8月 23 日(土) 8月 24 日(日)
令和 7 年度 健康フェスタ×ほかほかふれあいフェスタ×パラスポーツ体験会 (ブラインドサッカー体験ブース、フライングディスク体験ブース対応)	10月 5 日(日)
共ささ実行委員会 in 相模原スポーツフェスティバル 2025	10月 13 日(月)

ウ 相模原市スポーツ協会と連携したパラスポーツ体験の実施

内 容	実施日
桜まつり会場でのボッチャ体験(スポーツ協会展展ブースにて実施)	4月5日(土)
つくい湖湖上祭会場でのボッチャ体験(スポーツ協会展展ブースにて実施)	11月 16 日(日)
相模原市スポーツ少年団スポーツ交流事業・パラスポーツ体験会共催	2月 23 日(月・祝)

エ ふらっとボッチャ in アリオ橋本の実施

内 容	実施日
ボッチャ体験会(市高齢・障害者支援課が毎週火曜日に実施している「いきいき百歳体操 かがやき橋本」の開催日に合わせて実施)	原則毎月第 1 火曜日

オ 発達凸凹さんフェスタ実行委員会主催事業でのボッチャ体験の実施

内 容	実施日
『スポーツ図鑑 in さがみはら』～パラも健常者も一緒に、地域に根付くスポーツの魅力～ ボッチャ体験ブースを出展	12月 14 日(日)

(3) 地域、学校へのパラスポーツ出前講座

内 容	実施日
ふらっとボッチャ in アリオ橋本 (ボッチャ体験) ※再掲	原則毎月第 1 火曜日

(4) スポーツ指導体制の整備

障害のある人がスポーツを安全に楽しめるよう、「パラスポーツ指導員」資格取得者による企画・運営を行った。また、事業実施に当たっては、地域の有資格者と連携して行った。

(5) 障害の理解・普及等を目的としたパラスポーツ用具貸出事業

パラスポーツの普及啓発、障害等の理解促進を目的とした地域のイベント等の際にパラスポーツ用具の貸出を行った。

2 余暇活動支援事業

(1) スポーツ講座・ふれあい文化講座の実施

障害のある人の健康増進、心身機能の維持・向上、パラスポーツ大会および教養文化的な活動への参加促進を目的に各種講座を行った。なお、一部講座は、体育室の特定天井改修工事期間、他施設で開催した。

ア 障害者スポーツ講座

単位：人

内 容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
免疫力アップ↑元気に健康アップ体操 〈前期〉(対面および Zoom によるオンライン講座)	2	対面 13 オンライン 1組	2	6	21
元気にパワーアップ体操 Part1 (あじさい会館で実施)	3	59	0	22	81
美ヨガ&骨盤調整	2	21	3	10	34
元気にパワーアップ体操 Part2 (あじさい会館で実施)	3	56	0	26	82
Enjoy☆フィットネスダンス！	2	26	1	4	31
免疫力アップ↑元気に健康アップ体操 〈後期〉(対面および Zoom によるオンライン講座)	2	対面 6 オンライン 3組	4	0	10
合 計	14	181	10	68	259

イ 障害者ふれあい文化講座

内 容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
旬の野菜を楽しもう♪	2	20	5	2	27
おいしいお菓子を作ろう♪	1	17	2	1	20
じっさいさんのパフォーマンス講座 (あじさい会館で実施)	2	33	4	20	57
お味噌の美味しいおはなし	1	9	1	0	10
楽しく♪音楽&リズム	3	39	4	12	55
合 計	9	118	16	35	169

(2) オンライン配信を活用した講座の実施

自宅や事業所からでも参加できるよう Zoom によるオンライン講座を対面講座との同時進行で開催した。(再掲)

単位：人

内 容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い	合計
免疫力アップ↑元気に健康アップ体操 〈前期〉(対面および Zoom によるオンライン講座)	2	対面 13 オンライン 1組	2	6	21
免疫力アップ↑元気に健康アップ体操 〈後期〉(対面および Zoom によるオンライン講座)	2	対面 6 オンライン 3組	4	0	10

(3) きままシリーズの実施

障害のある人を対象に、事前の予約なしで気軽に参加できるスポーツ、教養文化的なイベントを実施した。一部は障害の理解促進、パラスポーツの普及啓発を図るため、障害のあるなしに関わらず、誰もが参加できる交流事業として実施した。実施に当たっては、ボランティアの受け入れや、けやき体育館利用団体や地域活動団体に協力を依頼する等、地域との連携を図った。

内 容	実施回数	障害者	ボランティア	付添い他	合計
きままに卓球&バドミントン	9	129	51	17	197
きままに卓球デイ	3	38	12	2	52
きままに卓球&バドミントン〈夜間〉	7	23	15	31	69
きままに卓球デイ〈夜間〉	5	9	7	7	23
きままに将棋デイ	12	19	9	3	31
ふらっとアート	12	31	3	9	43
きままにカローリング&ボッチャ ※再掲	9	137	95	89	321
きままにボッチャ ※再掲	3	12	11	8	31
きままにスポーツ(ボッチャ・フライングディスク・トランポリンなど) ※再掲	9	130	34	54	218
合計	69	528	237	220	985

(4) 文化活動の推進

障害のある方がその人らしい表現に取り組める文化活動として、作品を募集し、けやき体育館ロビーに展示した。

(5) ハンドサインぬり絵展示

毎月異なるハンドサインのぬり絵を配布し、参加者が各自で塗った作品を体育館ロビーに展示した。実施に当たっては、誰でも参加できる企画とし、ハンドサインをテーマとすることで、楽しみながら障害者や障害に関する理解促進、デフリンピックの普及を図った。

単位：人

テーマ	参加者
8月：デフリンピック 9月：応援 10月：勝つ 11月：拍手	88

(6) バスレクリエーションの実施

相模原市が実施する銀河連邦サガミハラ共和国とサク共和国（長野県佐久市）の障害者交流事業として、外出することが難しい又は外出機会の少ない障害のある人を対象に、バスを使用した日帰りレクリエーションを実施した。なお、募集に当たっては、共生社会の実現への取組として、地域の小学生も対象とし、交流事業としての実施とした。

実施日	内容	参加者
11月 8 日(土)	りんご狩り(長野県佐久市)	38 組 76 名(うち障害者 36 名)

(7) 余暇サークルの支援

パラスポーツ、文化活動の自主サークルの運営や新規サークルの立ち上げ等の支援及び育成講座等を通じて結成されたサークルに対し、コーディネート、自主化等の支援を実施した。

対象サークル	実施回数	延べ参加者数		
		障害者	ボランティア	その他
手芸サークル あむあむ	11	23	11	4
ボウリングサークル ターキーズ	11	45	14	1
バスケットサークル 松が丘 BULLS	27	246	33	1
サッカーサークル 相模原 FC 松が丘	15	145	29	4
合 計	64	459	87	10

3 地域交流イベント等の事業

(1) けやきウィーク

パラスポーツの普及啓発、障害及び障害のある人への理解・啓発を目的に、障害者週間（12/3～12/9）に合わせ、パラスポーツ体験会や創作体験などのイベントを実施した。開催に当たっては、けやき体育館利用団体や地域活動団体、企業に協力を依頼した。

内 容	実施日	参加者
ふらっとヨガ	12月3日(水)	10
ふらっとボッチャ	12月4日(木)	5
ふらっと手話ダンス	12月5日(金)	4
チャレンジ☆けやきウィーク	12月6日(土)	112
要約筆記体験会(PC・手書き)	12月7日(日)	11
タイルアート	12月7日(日)	16
手話による絵本の読み聞かせ会	12月7日(日)	5
ふらっとフライングディスク	12月8日(月)	2
ふらっとサウンドテーブルテニス	12月9日(火)	1
うんこドリル ほじょ犬	12月3日～9日	32

(2) 企業との連携イベント

さがみはらSDGsパートナー企業等と連携したイベントを実施した。

内 容	実施日
アリオ橋本 SDGs フェス ボッチャ体験ブース出展 (相模原 SDGs パートナーとして実施)	6月 7日(土)
科学のびっくろ箱！なぜなにレクチャー～二足歩行型ロボット～ ※トヨタ自動車株式会社共催(トヨタ技術会 協力)	11月15日(土)
相模原 SDGs EXPO ボッチャ体験ブース出展 (相模原 SDGs パートナーとして実施)	11月30日(日)

ふらっとボッチャ in アリオ橋本 (高齢・障害者支援課がアリオ橋本で実施している「いきいき百歳体操 かがやき橋本」開催日に合わせ、ボッチャ体験会を実施 ※再掲	原則毎月第1火曜日
第1回相模原“ゆめ”運動会 ※有限会社エヌ・プランニング共催(SAGAMI FORCE、teamhips、Hirocket Communication協力) ※協賛企業複数あり	2月28日(土)

(3) スタンプラリーの実施

市内小・中学校の夏季休暇に合わせ、期間中に実施される事業や障害者団体の活動への参加、けやき体育館に関するクイズへの回答などのスタンプラリー「けやき体育館マスターを目指せ!」を実施した。実施にあたっては、けやき体育館利用団体に協力をいただいた。

(4) 交流イベント

内 容	実施日	障害者	その他	ボランティア	合計
けやき☆ひろば ※地域における公益的な取組「みんなのけやきカフェ」同時開催	7月26日(土)	17	33	3	53
	2月21日(土)	9	12	8	29
科学のびっくり箱!なぜなに レクチャー ～二足歩行型ロボット～ ※トヨタ自動車株式会社共催(トヨタ技術会協力) ※再掲	11月15日(土)	9	20	3	32
第1回相模原“ゆめ”運動会 ※有限会社エヌ・プランニング共催(SAGAMI FORCE、teamhips、Hirocket Communication協力) ※協賛企業複数あり ※再掲	2月28日(土)	30	52	7	89
何でも♡発表会♪	3月13日(金)	9	14	2	25
じっくい&るなのピエロパフォーマンスショー	3月26日(木)	28	21	2	51
合計	6日間	102	152	25	279

4 よかサポート(余暇相談)

障害のある人一人ひとりの多様なニーズに応じた余暇を推進するため、講座、イベント、サークルなど様々な相談に対応した。

5 ボランティア育成

ボランティアセンターや地域と連携し、事業の協力を通じてボランティアの育成を行う。また、ボランティアの継続に向けた意見交換会を実施した。

(1) ボランティア登録者数（3月末現在）

年度	登録ボランティア者数
R7	49名（うち新規登録者数 5 名）
R6	46名（うち新規登録者数 4 名）

(2) ボランティア交流会の実施

実施日	参加者数
6 月 15 日(日)	10 名

6 情報発信

けやき体育館通信やホームページ、SNS、まちのコインを活用し、主催イベント、講座等のお知らせや報告、利用団体等の情報を提供した。

内 容	回 数
けやき体育館通信発行	6 回
公式 X 投稿回数	540 回
まちのコイン体験回数	74 回

※ 「まちのコイン」とは、地域のつながりの形成を目的に開発されたコミュニティ通貨（地域通貨アプリサービスで、相模原のコインは「すもー」で相模原市が運営している。

7 障害者支援センター松が丘園との連携

(1) 障害者地域就労援助センターと連携イベントの実施

障害者地域就労援助センター登録者を対象とした集いの場「さんさんサロン」開催日等に各種イベントを実施した。

内 容	実施日
ふらっとアート ※再掲	6 月22日(日)
インターネット被害未然防止講座	8月 24 日(日)、9 月 12 日(金)
きままに卓球&バドミントン ※再掲	3月15日(日)

(2) 余暇活動の理解促進と支援者養成を目的とした研修の実施

地域障害者施設支援事業・福祉研修センターと連携した、障害のある方の余暇活動参加への理解、支援者の養成を目的にレクリエーション支援研修は、体育室工事により講師との日程調整がつかず、実施を見送った。

(3) 重症心身障害児の余暇ニーズの把握

障害者支援センター多機能型事業所（生活介護事業所）と連携し、相模原市重症心身障害児者ネットワーク会議に出席し、けやき体育館の事業説明、余暇支援事業に関するニーズを確認した。

令和6年度～令和10年度 経営計画及び指定管理事業計画に記載している事項(主に新規事項)に関する令和7年度の取組評価										
	記載事項	記載計画		令和7年度の取組	具体的な目標数値または行動目標	令和7年度の実績	達成状況	備考	主な所管課	
		経営計画	指定計画							
	指標									
	指標1 障害のある人の“自分らしい多様な働き方”の支援									
1	年間就労者数	○	○	求職者、企業とのマッチングの強化を行う	年間就労者数60人	年間就労者数73人	達成		地域支援課	
2	就労定着者数	○	○	求職者、企業への支援を行い、安定した就労と職場定着へ向けたサポートを行う	就労C:年間就労定着者数465人 多機能:就労定着支援契約者15名を維持し、離職者の最少化を図る	就労C:年間就労定着者数578人 多機能:就労定着契約者数平均13.25人/月。離職者0名	達成	就労定着支援契約者に離職はなかった	地域支援課 福祉サービス課	
	指標2 地域で働く福祉人材の育成									
3	研修受講者総数	○	○	福祉サービス事業所等参加者のニーズに沿った研修を体系的に実施する	年間研修受講者数1550人	年間研修受講者数1968人	達成		地域支援課	
4	研修受講定員に対する出席率(平均値)	○	○	テーマとともに開催時間や場所を検討し、受講希望者が参加しやすい研修に向けた取り組みを行う	研修受講定員に対する出席率85%	研修受講定員に対する出席率102%	達成	コロナ禍に密を避ける目的で、ゆとりある席配置としたため。R8年度は定員数増加の見込み	地域支援課	
	指標3 多様なニーズの余暇支援の充実									
5	けやき体育館における障害者の年間延利用人数	○	○	SNSやホームページ等の活用による施設や事業のPRを行う。個人利用において新種目のバスケットボールなど実施回数を増やす。体育室等の快適な環境整備	20,100人 (指定管理成果指標)	障害者の年間利用延べ人数17,480人 (体育室利用停止期間3か月あり。利用可能期間の延べ人数は6,102人、平均678人。利用停止期間を平均人数で加算した場合、19,514人となる)	概ね達成	体育室空調設備設置工事のため11/17-2/20利用停止	けやき体育館	
	重点プロジェクト等									
	【暮らし】“重度の障害がある方(医療的ケア含む)が希望する暮らし”の支援									
6	多機能型事業所生活介護事業での医療的ケアが必要な方の受け入れ人数の拡大	○	○	前年度までに受け入れできなかったケースの受入	平均1日10名利用(生活介護①のみ)	新規利用者1名を受入れ	一部達成	支援学校の卒業生の利用を促すため、進路担当教員へ受入れができることを周知した	福祉サービス課	
7	医療的ケアの必要な人の受入れを進める事業所への指導看護師の派遣	○	○	市内事業所訪問をすることで、市内事業所の支援者の医療的ケア技術の底上げを図る	5事業所訪問	1事業所訪問	一部達成		福祉サービス課	
8	医療的ケア児等コーディネーターによる相談支援や連携強化の推進	○	○	重症心身障害児者ネットワーク会議を実施する	年4回実施	重症心身障害児者ネットワーク会議を4回/年開催。(うち医療的ケア児等コーディネーター4回参加。)	達成		生活相談課 福祉サービス課	
9	支援技術向上を目的とした研修の実施と関係機関との連携強化の推進	○		高度医療ケアの必要な障害児者に関する専門研修を実施する	支援技術向上を目的とした研修の実施	相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修を全8回シリーズで実施し、244名が参加した	達成		福祉サービス課 地域支援課	
10	関係機関等と連携しながら、当事者、入所施設、精神科病院、相談支援事業所等へ働きかけ、精神障害者等の地域移行に向けた支援の推進	○	○	精神保健福祉課と協働し研修を実施する	研修の実施	R8年2月に研修を実施し23名が参加した	達成		生活相談課	
11	心身の状態に合わせた活動の提供や支援技術の獲得	○		医療的ケア者を受入していない生活介護事業所への訪問による、医療的ケアの普及	項目7と同様	項目7と同様			福祉サービス課	
	【働く】障害のある人の“自分らしい多様な働き方”の支援									
12	障害者の多様な働き方のニーズ把握と採用企業等の開拓	○		アンケートや面談等をもとにしたニーズの把握とともに、企業に向けた働きかけを行う	アンケート等の実施、企業向けの研修会等の企画	短時間雇用に関するアンケートをB型事業所に向けて実施 R8.11.11 企業向け講演会実施	達成		地域支援課	
13	短時間雇用への支援	○	○	求職者とのマッチングの強化	年間100件以上の相談受理(20時間未満の就労に関する相談)	年間相談件数:342件	達成		地域支援課	
14	精神障害就労者の定着支援、生活面等の相談強化	○	○	企業や関係機関と連携した定着支援と生活相談の実施	生活面にかかる相談や面談の実施	相談件数:2035件	達成		地域支援課	
15	職場体験実習受入先の開拓	○		市内企業、関連団体との連携を強化し、実習の実施に向けた取り組みを行う	年間20件以上の実習のあっせん	職場実習件数:49件	達成		地域支援課	
16	就労援助センターの機能、専門性の強化		○	就労準備を含めた支援を行うなど、就労援助センター機能の強化を行う	南区での相談の実施の試行実施等	南区就労相談 実施回数23回 相談件数46件	達成		地域支援課	
17	重度の障害のある人がはたらくことができる環境づくり	○		生活介護①の利用者(医療的ケアの必要な利用者)への作業提供及び環境整備	生活介護②利用者参加の「生活介護①利用者作業参加のための会議」開催	「生活介護①利用者作業参加のための会議」年8回開催	達成	会議で話し合った内容を作業に活かし、生活介護①利用者が楽しく作業に参加できるよう検討していく	福祉サービス課	
	重度の障害のある人の就労支援		○	重症心身障害者(医療的ケアの必要な人)等の、その人らしい働き方の検討	生活介護②利用者参加の「生活介護①利用者作業参加のための会議」開催				福祉サービス課	
18	就労アセスメントツールを活用する職員の資質向上	○		アセスメントツールの活用等、専門スキルを向上させる研修会等への参加	年間1回以上研修会・勉強会への参加	R8.1.23 「BWAP2を活かした就労スキルの可視化と就労選択支援」研修実施	達成		地域支援課	
	【育てる】地域で働く福祉人材の育成									
19	相談支援事業所への支援を推進するとともに、相談支援事業所を支援する人材の育成	○	○	相談支援事業所から寄せられる相談支援に関する相談に応じる。また、障害者相談支援キーステーションや主任相談支援専門員と連携して相談支援従事者法定研修受講者に対しインターバルの対応を実施する	相談支援従事者法定研修のインターバル実習の対応及び調整	基幹相談支援センター及び障害者相談支援キーステーションにおいて、法定研修受講者のインターバル対応を個別支援と集団研修の双方により実施した	達成		生活相談課	
20	医療的ケア児等コーディネーター(委託事業)との協力による研修の実施		○	医療的ケア児等コーディネーターと協働で研修を企画する	年間6回の研修を企画する	相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修について、研修センターと医療的ケア児等コーディネーターで共同企画し、全8回シリーズで実施。244名が参加した	達成	再掲 9	地域支援課 生活相談課	
21	強度行動障害支援者養成研修における、市内従事者による講師、ファシリテーターの育成	○	○	講師等の育成を目的にした研修等を実施する	講師向け研修1回以上実施	講師、ファシリテーター向け事前勉強会を1回実施した	達成		地域支援課	
22	強度行動障害支援者養成研修「実践編」の実施に向けた準備	○		令和8年度以降の実施に向けた、講師、ファシリテーターの確保と育成を行う	国機関や県内事業者と連携した勉強会や視察等を複数回行う	「基礎編」終了後に、「実践編」につなげるために講師、ファシリテーター振り返り会を1回実施した	達成		地域支援課	
23	強度行動障害者支援者養成研修の実施		○	市内障害福祉サービス事業所との連携のもとで研修を実施する	令和7年11月中旬に2日間の日程で基礎研修を実施予定	強度行動障害支援者養成研修基礎研修を、11月13日、14日の2日間の日程で実施した	達成		地域支援課	
24	地域で実施される障害理解に関する講座等への講師派遣をさらに推進	○		他機関の計画する研修に対する支援を行う	年間7回以上の他機関への支援と講師派遣	市内の事業所、団体等で開催する研修の企画支援を21回実施した	達成		地域支援課 他	
	事業団職員講師地域派遣事業(出前講座)		○	事業団職員の講師派遣事業にあたり事業の周知等を行う		団体等の要望に応じ、事業団職員を研修講師、演習講師として68回派遣した	達成			
	【楽しむ】多様なニーズの余暇支援の充実									
25	地域や学校にバラスポーツ指導員派遣による普及活動、バラスポーツ用具の貸出	○	○	バラスポーツに関心のある地域等の団体に用具の貸出を行う	貸出 3件 事業の周知を学校や地域等に行う	バラスポーツ用具の貸し出しを15件実施した。	達成		けやき体育館	
26	さがみはらSDGs/パートナー企業の協力によるイベント主催	○		主に児童が参加しやすいプログラムのイベントを開催する	児童と障害のある方を主とした地域交流、障害の理解促進	企業との連携イベントを5回実施した	達成		けやき体育館	
27	自宅や事業所でも楽しめる余暇活動への参加方法及び支援者を養成するレクリエーション研修の充実	○		スポーツ講座にオンライン配信を活用し自宅等から参加できる講座の実施	オンラインによる講座出席者数 のべ20人	オンラインと対面の同時進行ででの講座を4回実施。オンライン参加者3組(延べ30人)の参加があった。	達成		けやき体育館	
28	施設利用、講座、イベント、サークル運営等の様々な余暇に関する相談事業の開始 よかサポート事業	○	○	障害のある人一人ひとりのニーズに応じた余暇に関する相談に対応	よかサポート(余暇相談)の実施 相談件数 10件	件数として集計するまでには至らなかったが、余暇に関する細かな相談に対応した。	一部達成		けやき体育館	
	事業を下支える法人全体としての取り組み									
29	安定的な経営を維持するため、財務会計の正確性や信用性を向上させる	○		令和7年度の法人会計について専門家による支援をうける	・令和7年度下半期以降、公認会計士の財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援を開始し、令和7年度終了後に実施報告を受ける(結果報告書は令和8年)	令和6年10月～令和7年9月で実施 令和7年10月に実施報告を受ける	達成	引き続きこのスケジュールで実施をしていく	法人本部・総務課	
	将来にわたり安定的な経営を維持していくため、財政基盤強化の取組みを推進		○							
30	ワークライフバランスの充実	○		子育てしやすい環境の整備	育児介護休業法の改正に対応する	職員就業規則及び育児・介護休業規程の改正を行った	達成		法人本部・総務課	
	新たな取組み・提案事業									
31	事業団職員の専門的知識や技術を用い、地域住民に向けた、様々な勉強会やイベント等に出向き、障害理解に関する講座を実施する		○	項目24と同様					地域支援課	
32	社会福祉士相談援助実習やインターンシップ体験など、大学生等の実習を積極的に受け入れ、障害福祉業務への興味関心をさらに高めるよう働きかけ、将来的な福祉人材の育成に貢献する		○	学生クルー事業実施	学生クルーの登録者 目標値2名	学生クルーとして5名の学生を登録した	達成		総務課	

33	SNSの活用～身近なファンを増やす～		○	SNSによる発信の準備をする	Instagram又はエックスの試行	9月よりInstagramによる情報発信 令和7年度143件発信	達成		総務課、広報 委員会
34	さがみはらSDGsパートナーとしての登録、ビジネス認証への取組み		○	相模原市公的認証に向けた取組む	相模原市公的認証に向けた課題の検証	市が指定する社会、環境に関する公的認証等について確認、環境に関する公的認証取得について検討した	一部達成		総務課、地域 支援課
生活介護事業									
35	市内の重症心身障害児者の支援者を対象とした研修やケア検討会を実施し、市内事業所の支援者の医療的ケア技術の底上げを図る		○	項目9と同様					福祉サービス 課
36	身体に障害のある人の、働きたいと希望する気持ちに寄り添い、一人ひとりにあった作業提供を行うことで、働くことによる社会参加を促進する		○	項目17と同様					福祉サービス 課
37	重症心身障害児者ネットワーク会議等の運営を通して、けやき体育館との連携事業を展開し、重症心身障害児者の余暇活動の充実を図る		○	当該会議で余暇活動について、具体的取組と実施について議論を深める	e-スポーツに関するイベントの企画	けやき体育館職員が重心ネットワークに参加し、情報共有を行った	一部達成		福祉サービス 課
自立訓練									
38	講座やプログラムを通して、グループの中で同年代の若者がお互いに助け合 いながら、それぞれの心の成長を図る		○	グループでの活動を通した相互作用の促進	よさこいソーラン節等を通し、利用者各々の相互作用により成長を図る	よさこいソーラン節を、発表することでそれぞれの利用者の自信へと繋がった	達成		福祉サービス 課
39	利用者の就労後の生活を見据え、その時々にあった「ライフサポート講座」(地図アプリの使い方、各種手続き等)の企画を随時実施する		○	ライフサポート講座の企画において、利用者それぞれの生活的課題を抽出し、企画に反映する	ライフサポート講座3講座のリニューアル	3講座の内容をリニューアル	達成		福祉サービス 課
就労移行支援事業									
40	就労に向けた実践的なトレーニングの場として施設外就労を実施する		○	就労に向けた実践的なトレーニングの実施	施設外就労を生かした就職活動	医療関係のレンタル会社で洗濯業務を実施	達成		福祉サービス 課
就労継続支援B型									
41	パンを増産し、販路を拡大する		○	作業意欲の向上を図る制度の導入	検定制度の導入により、作業意欲の向上を図る	技能判定シート作成	一部達成		福祉サービス 課
42	利用者参加型の営業により売上向上と工賃アップを目指す		○	利用者が経営にかかわる取組みの実施	販売戦略会議の継続開催	販売戦略会議8回開催	達成		福祉サービス 課
就労定着支援事業									
43	利用者が継続して働くために必要なイベントを企画する		○	定着支援事業利用者による、よさこい指導及び就労に関する実践報告	「卒業後の私たち」開催 よさこい指導	よさこい指導・サポート43名 就労に関する実践報告14名 卒業後のわたしたち発表1回	概ね達成		福祉サービス 課
基幹相談支援センター等事業									
44	(仮称)相談支援事業所連絡会を開催する		○	計画相談支援事業所と意見交換会を実施	障害者相談支援キーステーションで実施されるGSV終了後、相談支援について各区年1回意見交換を実施	各区でGSV終了後に自立支援協議会について報告するとともに意見交換を実施した	達成		生活相談課
45	相談支援従事者の法定研修受講者を対象に、理解を促進するための研修を相模原市独自で行う		○	項目19と同様					生活相談課
46	必要な時に研修受講ができるようオンデマンド配信を実施する		○	項目53と同様					地域支援課 生活相談課
47	(仮称)虐待防止委員会連絡会を開催する		○	虐待防止委員会の取組みについて意見交換会を実施	年1回実施	人員体制の都合で、取組みができなかった	未達成		生活相談課
48	地域で生活することがイメージできる動画を作成し、ピアサポーター等と連携しながら意思形成の取組みを実施する		○	項目10と同様					生活相談課
就労援助センター									
49	短時間であれば就労可能な障害のある人に対する相談の強化、就労機会創出のため企業に対する周知活動を行い、障害のある人と企業のニーズを把握した人材マッチングを行う		○	項目13と同様					地域支援課
50	障害者法定雇用率の段階的な引き上げに向けて、市内事業所へのサポート及び重度障害者の就労支援を行う		○	項目12、15と同様					地域支援課
人材の確保及び育成に関する事業									
51	相模原市内の強度行動障害支援者養成のニーズに応えるため、強度行動障害支援者養成(実践編)の実施に向けた準備を行う		○	項目22と同様					地域支援課
52	強度行動障害支援者養成研修の実施にあたり、相模原市内の障害福祉サービス事業所職員と連携し、「オール相模原」講師団を結成するための講師育成を実施する		○	項目21と同様					地域支援課
53	多くの障害福祉サービス事業所等の職員が受講可能とするために、関係機関と連携して「障害福祉制度」、「障害者の理解」、「虐待防止研修」等の講義形式の研修をオンデマンドで配信できるよう整えていく		○	オンデマンド配信についての多くの課題について考えていく	著作権や配信についての謝礼の調査、講師との調整	2回のオンライン講義を実施し、次年度はさらなるオンデマンド配信(ハイブリッド研修含む)の実施を検討している	達成		地域支援課 生活相談課
54	相模原市内障害福祉サービス事業所等の研修ニーズに対応するために、事業団職員を講師として派遣する出前講座に取り組む		○	項目24と同様					地域支援課
55	けやき体育館に相模原市内障害福祉サービス事業所に就職した人の働き方等を紹介する「職員紹介コーナー」を設置する		○	求人情報とともに、事業所での働き方などの紹介を行う	年間10件以上の求人紹介を行い、合わせて職員紹介のコーナーの作成	年間6件の求人紹介と、3件の職員紹介コーナーを作成した	一部達成	コロナ禍により中止していた「福祉の仕事フェア」の代替として実施した事業であるが、「福祉の仕事フェア」再開により、当初の需要がなくなりつつある可能性あり	地域支援課
56	地域の大学・高等学校・公民館・公共施設等における新たな販売会の開拓を行う		○	引き続き各所での販売会の実施(大学は青山学院大等との連携)	年間10件以上の販売会を実施	年間40件の販売会を実施した	達成		地域支援課
けやき体育館									
57	利用者増及び施設や事業のPRを行うため、体育室、機能訓練室の個人利用の回数とスポーツ種目を増やす		○	項目5と同様					けやき体育館
58	体育館内に不審者が現れた場合の避難や対応訓練を同じ建物内にあるけやき会館と実施する		○	緊急対応マニュアルの見直しと最新のリスクを考慮した訓練の実施	火災、不審者の緊急対応マニュアルの作成 不審者対策講習の実施	各種緊急対応マニュアルを作成した。 不審者対策講習会を1回実施した	達成		けやき体育館
59	就労体験実習ニーズに的確に対応できるよう、体育館内の受付や施設点検、館内のビルメンテナンス業務など実習内容を増やす		○	地域就労援助センター登録者にけやきカフェ以外の実習メニューを提供する	事務所内の受付、施設点検、事務作業の提供	施設管理・貸出業務の実習を、3人の方に8日間行った	達成		けやき体育館
60	障害にかかわらず、楽しく豊かな生活を送れるよう、一人ひとりの多様なニーズに応じた余暇を推進するため、各種講座、イベント、サークルなどスポーツや文化活動の様々な余暇に関する相談に対応する「(仮称)よかサポート事業」を実施する		○	項目28と同様					けやき体育館
61	地域でバラスポーツが定着するよう、地域・学校・団体等にバラスポーツ用具の貸出を始める		○	項目25と同様					けやき体育館
62	事業所や自宅からもスポーツや文化活動の講座に参加できるよう対面とオンライン配信を同時に対応できる講座を充実させる		○	項目27と同様					けやき体育館
63	近隣小学校に通う児童等を始め、障害の有無に関わらず地域の方と楽しめるイベントをさがみはらSDGsパートナー企業等と連携し開催する		○	項目26と同様					けやき体育館
独自の発想における自主事業									
64	専門的な人材による支援の展開		○	基幹相談支援センターと連携し、障害児者に対し計画相談支援等を実施する	基幹相談支援センターを交えたケース検討を実施する	毎週定期開催にてケース会議を実施し、支援の現状と課題を共有、支援方針を検討した	達成		生活相談課
65	当事者主体の施設づくり/松が丘自治会		○	松が丘園利用者自治会の設置に向けた準備	自治会設置に向けて利用者向けに説明会等を行う	生活介護①は自治会長を選出、その他の事業では「選挙と自治会」をテーマにした講座を開催	一部達成	各事業自治会長の選出を行っている	福祉サービス 課
66	地域における公益的な取組み		○	「まつカフェ」「みんなのけやきカフェ」を開催。子どもや障害のある人がほっとできるような居場所、食事、情報提供の場を設ける	「まつカフェ」実施回数 6回 「みんなのけやきカフェ」実施回数 3回	「まつカフェ」を全6回、「みんなのけやきカフェ」を全2回実施した	概ね達成		松が丘園 けやき体育館
67	地域の障害理解促進		○	項目24と同様					地域支援課 他
68	自動販売機の設置		○	障害のある人等の利便性を高めるとともに災害時にも安心して飲料が購入できる利点のため設置	松が丘園 屋外2台、屋内2台 けやき体育館 屋内4台	松が丘園 目標台数を維持した けやき体育館 屋内に3台設置、目標台数設置に向けた検討を行った。	概ね達成		松が丘園 けやき体育館
69	利益の還元		○	地域における障害理解を促進するための事業実施	講演会や地域の公益的な取組み、花壇ボランティア活動等の実施	地域の公益的な取組み、花壇ボランティア活動、地域住民向け研修を実施した	達成		総務課

社会福祉法人 相模原市社会福祉事業団

令和7年度 福祉研修センター 研修実施報告

【障害福祉サービス事業所等職員対象】

区分			研修名	講師		対象者の区分	実施日時	実施方法	参加者数	定員	参加率								
				所属等	氏 名														
入門コース	入門	N1	福祉の仕事のルーツを知ろう	田園調布学園大学	松本 葉子 氏	入門	6月4日(水)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	19	25	76%								
			支援者の価値観と倫理観				8月18日(月)午後2時30分から午後5時まで		22	25	88%								
			対人支援の専門性とは				9月26日(金)午後2時30分から午後5時まで		21	25	84%								
			障害の理解と障害者を支える思想				隅河内 司 氏		12月12日(金)午後2時30分から午後5時まで	23	25	92%							
			障害福祉制度と地域生活支援						1月16日(金)午後2時30分から午後5時まで	18	25	72%							
障害福祉基礎研修	基礎Ⅰ	A1	自閉スペクトラム症や神経発達症(発達障害)のある子どもと共に育つ	鶴見大学	河合 高鋭 氏	基礎	5月28日(水)午前10時から正午まで	対面研修	36	25	144%								
		A2	サービス等利用計画と個別支援計画の関係	いそご地域活動ホーム いぶき	渡邊 史朗 氏	基礎	6月6日(金)午前10時から正午まで	対面研修	29	25	116%								
		A3	障害福祉制度の基礎	桜美林大学	谷内 孝行 氏	基礎	5月8日(木)午後3時から午後5時まで	対面研修	29	25	116%								
		A4	最新の障害福祉の動向	全国手をつなぐ育成会	又村 あおい 氏	基礎	1月18日(日)午前10時から正午まで	対面研修	39	25	156%								
		A5	知的障害のある人の語りを聞く面白さと奥深さ	青山学院大学	杉田 穂子 氏	基礎	3月18日(水)午後3時から午後5時まで	対面研修	21	25	84%								
		A6	相模原市の障害福祉制度	相模原市中央高齢・障害者相談課	阿部 侑司 氏	基礎	9月24日(水)午後2時から午後4時まで	対面研修	27	25	108%								
		A7	高次脳機能障害支援の「今」と「これから」	神奈川県総合リハビリテーションセンター	佐藤 健太 氏	基礎	2月3日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	31	25	124%								
				社会福祉法人かわせみ会	大西 陽介 氏														
		A8	法人格を超えてつながる地域福祉	株式会社アイスリー	遠藤 竜士 氏	基礎	12月22日(月)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	25	25	100%								
				株式会社YELLOWWS	横内 良慈 氏														
	A9	障害者虐待防止・権利擁護研修①	いそご地域活動ホーム いぶき	渡邊 史朗 氏	基礎	10月31日(金)午前10時から正午まで	対面研修	28	40	70%									
		障害者虐待防止・権利擁護研修②	相模原市児童相談所	渡辺 智興 氏	基礎	11月5日(水)午前10時から正午まで	対面研修	36	40	90%									
		障害者虐待防止・権利擁護研修③	相模原市社会福祉事業団	玉手 邦明 氏	基礎	11月17日(月)午後3時から午後5時まで	対面研修	30	40	75%									
		障害者虐待防止・権利擁護研修④	育桜福祉会 あかしあ園	鈴木 謙之 氏	基礎	12月2日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	40	40	100%									
	基礎Ⅱ	B1	子どもたちの暮らしを支えるために私たちは何ができるか	相模原市児童相談所	井上 昭則 氏	基礎	10月21日(火)午後2時から午後4時まで	対面研修	23	25	92%								
		B2	記録はアセスメントで変わる！！	武蔵野大学	前廣 美保 氏	基礎	9月30日(火)午後2時から午後4時まで	対面研修	36	25	144%								
		B3	発達障害の特性を知る	発達障害支援センター	川崎 祐介 氏	基礎	10月21日(火)午後2時から午後4時まで	対面研修	29	25	116%								
					小松原 裕輔 氏														
		B4	エンパワメント・ストレングス研修	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏	基礎	8月29日(金)午後2時から午後4時まで	対面研修	18	25	72%								
		B5	解決志向アプローチとストレングス視点	立正大学	村尾 泰弘 氏	基礎	1月26日(月)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	26	25	104%								
B6		意思決定支援スキルアップ研修	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏	基礎	10月20日(月)午後2時から午後4時まで	対面研修	22	25	88%									
B7		福祉事業所が地域と連携するための視点	特定非営利活動法人けやきの会		基礎	2月14日(土)午前10時から正午まで	対面研修	46	25	184%									
支援技術向上研修(相談)	C1	～相談支援事業所向け～ 報酬・加算について学ぶ	相模原市社会福祉事業団	玉手 邦明 氏	応用	8月25日(月)午後2時から午後3時30分まで	対面研修	38	25	152%									
	C2	医療観察法を学ぶ	相模原市精神保健福祉センター	広谷 裕美 氏	応用	1月9日(金)午後2時から午後4時まで	対面研修	39	25	156%									
			横浜保護観察所	須藤 直美 氏															
			一般社団法人ラフレックス	神崎 寛明 氏															
	C3	地域移行支援を考える～病院から地域へ 事例から学ぶ支援の視点～	なでしこメンタルクリニック	白石 弘巳 氏	応用	2月20日(金)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	27	35	77%									
			相模湖病院	中村 菜央 氏															
	C4	ロールプレイで学ぶ精神障害の特性と面接技法	日本社会事業大学	古屋 龍太 氏	応用	10月27日(月)午後1時30分から午後4時30分まで	対面研修	16	25	64%									
	C5	就労選択支援の意見交換会	相模原市社会福祉事業団	就労援助センター	応用	9月4日(木)午後2時から午後4時30分まで	対面研修	61	25	244%									
	C6	ソーシャルワークアプローチ研修	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏	応用	12月1日(月)午後2時から午後5時まで	対面研修	20	25	80%									
北澤 和美 氏																			
C7	面接トレーニング	相模原市社会福祉事業団	小林 麻衣子 氏	応用	12月11日(木)午後1時30分から午後5時まで	対面研修	4	5	80%										
			北澤 和美 氏		1月23日(金)午後3時30分から午後7時まで		4	5	80%										
C8	相模原市の相談支援体制と障害者自立支援協議会	相模原市社会福祉事業団	玉手 邦明 氏	応用	9月4日(木)午後2時から午後4時30分まで	対面研修	41	25	164%										
			北澤 和美 氏																
C9	協働型で相談支援の質の向上と基本報酬アップ	埼玉県障害者相談・地域支援センターけやき	野崎 陽弘 氏	応用	12月18日(木)午後2時30分から午後5時まで	対面研修	34	30	113%										
		相模原市役所 高齢・障害者福祉課	丸岡 龍太 氏																
相模原市重症心身障害児者・医療的ケア児等看護研修	D1	「てんかんを学ぼう」	相模原療育園	細田 のぞみ 氏	応用	10月18日(土)午後1時から午後2時30分まで	対面研修	54	40	135%									
	D2	「消化管のはなし」～胃ろう・消化・栄養・排泄について～		武田 憲子 氏	応用	10月18日(土)午後2時40分から午後4時10分まで													
	D3	重症心身障害児(者)の「こころ良さ」を目指して身体メカニズムと介助法ポジショニング等	相模原療育園	樋口 滋 氏	応用	11月11日(火)午後5時30分から午後7時30分まで	対面研修	18	20	90%									
	D4	摂食研修・基礎編1	昭和大学歯学部	渡邊 賢礼 氏	応用	12月11日(木)午後5時30分から午後7時30分まで	オンライン	37	20	185%									
		摂食研修・応用編		石崎 晶子 氏	応用	1月16日(金)午後5時30分から午後7時30分まで	対面研修	23	20	115%									
	D5	人工呼吸器装着中のケアとアラーム対応	合同会社CARE TREE	村井 毅 氏	応用	1月24日(土)午前10時から正午まで	対面研修	35	20	175%									
	D6	医療的ケア児等コーディネーターと考える「つなぐ力」	相模原療育園	細田 のぞみ 氏	応用	2月12日(木)午後6時30分から午後8時30分まで	対面研修	30	40	75%									
相模原市社会福祉事業団			医ケアコーディネーター																
工賃アップセミナー	E1	農家と福祉が協力～実践事例から学ぶ～	小山農場	小山 康明 氏	応用	1月15日(木)午後6時から午後7時30分まで	対面研修	21	20	105%									
		レインツリー淵野辺事業所	土屋 誠 氏																
		E2	新しい目線で目指す工賃アップ	一般社団法人kitokito	野口 省子 氏	応用	3月5日(木)午後5時から午後7時まで	対面研修	21	20	105%								
		E3	持続可能な運営のための今こそ工賃を考える	社会福祉法人藍	大野 圭介 氏	応用	11月6日(木)午後5時から午後7時まで	対面研修	26	20	130%								
社会福祉法人かむ	碓井 優子 氏																		
テーマ別研修	F1	最新の福祉の動向～就労選択支援事業～	全国手をつなぐ育成会	又村 あおい 氏	全職員	4月22日(火)午後5時30分から午後7時30分まで	対面・オンライン	86	80	108%									
											F2	シリーズで学べるコミュニケーション研修①	井上 隆 氏	全職員	7月25日(金)午前10時から正午まで	対面研修	25	25	100%
												話し方／聞き方研修		全職員	9月12日(金)午前10時から正午まで	対面研修	21	25	84%
												シリーズで学べるコミュニケーション研修②		全職員	11月28日(金)午前10時から正午まで	対面研修	18	25	72%
	F3	シリーズで学べるコミュニケーション研修③	説得力ある話し方	特定非営利活動法人遊悠楽舎	明石 紀久男 氏	全職員	10月3日(金)午後1時30分から午後3時30分まで	対面研修	27	25	108%								
												～親と子だけの問題なの？～みんなで考えよう ひきこもるということ							
	F4	知らないって遅い？LGBTQ+のこと。	からふるテラス	佐藤 悠貴 氏	全職員	12月23日(金)午後3時から午後5時まで	対面研修												
	F5	「医療的ケア」の基本と実際の支援	相模原市医師会訪問看護ステーション	荒川 雅子 氏	全職員	1月24日(土)午前10時から正午まで	対面研修	16	25	64%									
			訪問看護ステーションさくらんぼ	清水 江里子 氏															
	F6	キャリアアップを前提とした障害者雇用とは？	ブックオフグループホールディングス株式会社	永谷 佳史 氏	全職員	12月5日(金)午後2時から午後4時30分まで	対面研修	18	25	72%									
F7	働く人を見つける、育てる、つなげるために	明星大学	縄岡 好晴 氏	全職員	1月23日(金)午後2時から午後4時まで	対面研修	28	30	93%										
F8	卒業後のわたしたち	障害者支援センター松が丘園	多機能型事業所の皆	全職員	7月11日(金)午前10時から正午まで	対面研修	65	25	260%										

	F9	業務整理から”できる仕事”の切り出し事例に学ぶ雇用設計	社会福祉法人らつく	鈴木 拓也 氏	全職員	11月11日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	29	30	97%
	F10	福祉事業所における短時間雇用支援を考える	就労援助センター／相模原市		全職員	3月9日(月)午後5時から午後7時まで	対面研修	29	20	145%
支援者支援研修	G1	「心のメンテナンス」研修	ふくしま心のケアセンター	片柳 光昭 氏	全職員	12月17日(水)午後1時30分から午後4時30分まで	対面研修	12	25	48%
	G2	レジリエンス研修	慈恵第三看護学校 高津看護学校	井上 隆 氏	全職員	12月9日(火)午後2時00分から午後4時30分まで	対面研修	20	25	80%
法定研修	H1	強度行動障害支援者養成研修(相模原市からの委託)	募集要項のとおり	募集要項のとおり	全職員	11月13日(木)午前9時10分から午後5時30分まで	対面研修	48	50	96%
					全職員	11月14日(金)午前9時00分から午後5時30分まで	対面研修	48	50	96%
使用者向け研修	I1	障害者虐待防止・権利擁護研修	三菱UFJビジネスパートナー株式会社		管理職	12月8日(月)午後1時30分から午後5時30分まで	対面研修	17	20	85%
※ 研修対象者の目安(基礎:主に職務経験1年目から3年目の新任職員を対象、応用:主に職務経験4年以上の職員を対象)								1742	1630	107%

【障害当事者、家族等向け】

区分	研修名		講 師		実施日時	実施方法	参加者数	定員	参加率
			所属等	氏 名					
障害当事者、 家族等向け研修	J1	聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室①	相模原市緑高齢・障害者相談課職員		9月26日(金)午後2時から午後4時まで	対面研修	8	20	40%
		聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室②	国際医療福祉大学三田病院	高橋 優宏 氏	11月21日(金)午後2時から午後4時まで	対面研修	5	20	25%
		聞こえにくい方のためのコミュニケーション教室③	土の会	土屋 和代 氏	1月16日(金)午後2時から午後4時まで	対面研修	5	20	25%
	小山 幸子 氏								
	J2	ともいきメタバース講習会		みおしん 氏	10月31日(金)午後1時30分から午後3時30分まで	対面研修	3	8	38%
				白井 氏					
				まいまい 氏					
	J3	家族の安心につながる～成年後見制度と相続～	奥村司法書士事務所	鹿島 久実子 氏	3月3日(火)午後1時30分から午後3時まで	対面研修	36	25	144%
	J4	コミュニケーションの基礎を学びましょう！	ふくしま心のケアセンター	片柳 光昭 氏	6月20日(金)午後2時から午後4時まで	対面研修	4	5	80%
		SSTを体験しましょう①			8月22日(金)午後2時から午後4時まで		6	5	120%
		SSTを体験しましょう②			10月17日(金)午後2時から午後4時まで		3	5	60%
		SSTを体験しましょう③			12月19日(金)午後2時から午後4時まで		3	5	60%
		SST体験の振り返り			2月20日(金)午後2時から午後4時まで		5	5	100%
							78	118	66%

【市民等向け】

区分	研修名		講 師		実施日時	実施方法	参加者数	定員	参加率
			所属等	氏 名					
市民等向け講座	K1	障害平等研修	桜美林大学	谷内 孝行 氏	12月4日(木)午後2時から午後5時まで	対面研修	23	25	92%
	K2	【寄り添いの力を育む】～高齢化する知的障害者への支援と連携	東京福祉大学	庄司 妃佐 氏	1月19日(月)午後5時30分から午後7時30分まで	対面研修	50	80	63%
	K3	知らないって違い？LGBTQ+のこと。 ～地域共生社会とセクシャルマイノリティについて～	からふるテラス	佐藤 悠貴 氏	12月23日(火)午後3時から午後5時まで	対面研修	19	25	76%
	K4	作業療法士と学ぶメンタルヘルス@さがみはら	相模原市健康福祉局地域包括ケア推進部	熊谷 直樹 氏	10月5日(日)午後1時から午後4時まで	対面研修	56	50	112%
			ココロとカラダ@SAGAMIHARA	作業療法士の方々					
							148	180	82%

総計19681928102%